

# 会津若松市における 住基空間情報を活用した 行政課題解決への挑戦！！



←会津侍 若松つつん

平成29年11月17日

福島県会津若松市役所

統合GIS活用検討チーム

市民部市民課 伊藤文徳

[bun@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp](mailto:bun@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp)

# 会津若松市の紹介



H29.10.1現在 総人口 121,925人

- **地理**  
福島県の西部に位置しており、磐梯山や猪苗代湖など豊かな自然に囲まれた、自然景観に恵まれたまちです
- **歴史**  
古事記や日本書紀などにも「相津」と記され、東と北の出会う重要な接点として位置づけられています。また、会津は、戊辰の戦いによって武家支配が終焉を迎えるまで、中央と地方(奥州)との政治勢力が拮抗する一大拠点でした。
- **産業**  
国内有数の観光産業  
-平成25年大河ドラマ「八重の桜」  
酒、漆器等の地場産業  
IC関連の最先端産業  
IT関連産業の創設
- **大学**  
平成5年開学の会津大学  
先進のソフト・ハードウェア・サイエンティスト  
養成を目的 コンピュータと英語教育に特徴



# 会津若松市における 住基空間情報を活用した 行政課題解決への挑戦！！

1. 導入背景と構築への道のり

2. 住基ポイントデータの更新方法

3. 住基ポイントデータの確認方法

4. 活用事例について

# 1. 導入背景と構築への道のり

- 東日本大震災や南会津の水害を教訓とした
  - 災害弱者といわれる「要援護者の支援体制構築」
- 災害に特化した情報システム
  - 平時における職員の訓練や運用体制が課題
- 平時にいかに便利に利用するかが重要
  - 職員が活用することによる「気づき」
- 統合GISの地図情報更新
  - 結局、地図(データ)が更新されないと使わない

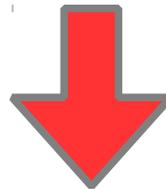


住民基本台帳と連動した統合GISの導入



# 1. 導入背景と構築への道のり

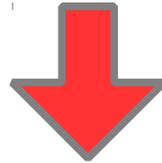
- 平成23年6月30日 新潟で地方公共団体地域情報化推進フェア2011  
住民情報（WideGV）とGIS（地図情報システム）を連携して視覚的に住民情報を把握  
の事例デモ
- 平成23年 8月25日 関係各課向けにデモを実施→市民課より通知
- 平成23年10月28日 第1回統合型GIS関係各課会議→市民課より提案
- 平成23年11月 1日 行政評価案件提出（企画副参事会議）
- 平成23年11月 1日 地方自治体情報化推進フェア2011へ情報収集
- 平成23年11月 2日 //
- 平成23年11月11日 第2回統合型GIS関係各課会議
- 平成23年11月18日 「汗動・協働・創造」枠 予算要求  
「災害支援システム事業（統合型GIS（地図情報システム）構築）」二役へデモ
- 平成23年11月25日 統合GIS導入へ庁内情報化推進会議に提出
- 平成24年 1月23日 平成24年度当初予算市長説明



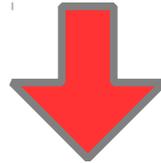
**市民課より事業提案したが、予算つかず。。。**

# 1. 導入背景と構築への道のり

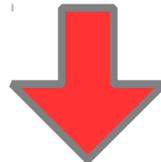
二役&職員に「統合GIS」導入の必要性



市民課→防災安全課主体に



国（総務省）の補助制度を活用



H25. 3. 11～「統合GIS」稼動スタート

# 会津若松市における 住基空間情報を活用した 行政課題解決への挑戦！！

1. 導入背景と構築への道のり
2. 住基ポイントデータの更新方法
3. 住基ポイントデータの確認方法
4. 活用事例について

# 2. 住基ポイントデータの更新方法

①右の異動事由の参照し、該当する異動事由であれば該当する地図を印刷する。

②市民の方に場所を確認します。届出書と地図の場所が同一かを確認します。**→もし、届出書が怪しいと思ったときは、その場所の住民がどんな住所であるか確認します。**

③GISに行くのは場所の指定です。  
(実際に地図上のどこであるかが分かればオッケーです)

市民課での仮稼動中にあった事例照会

- ・地図を確認すると○丁目がそっくり異なっていた。住民の方に確認すると、届出が間違っていた。(結果、住民の方に感謝されました)
- ・住民の方に聞き取りせずに、後から地図を印刷し、更新かけようと思ったが、同じ住所が複数あり結局不明であった。
- ・住宅地図が間違っていた。

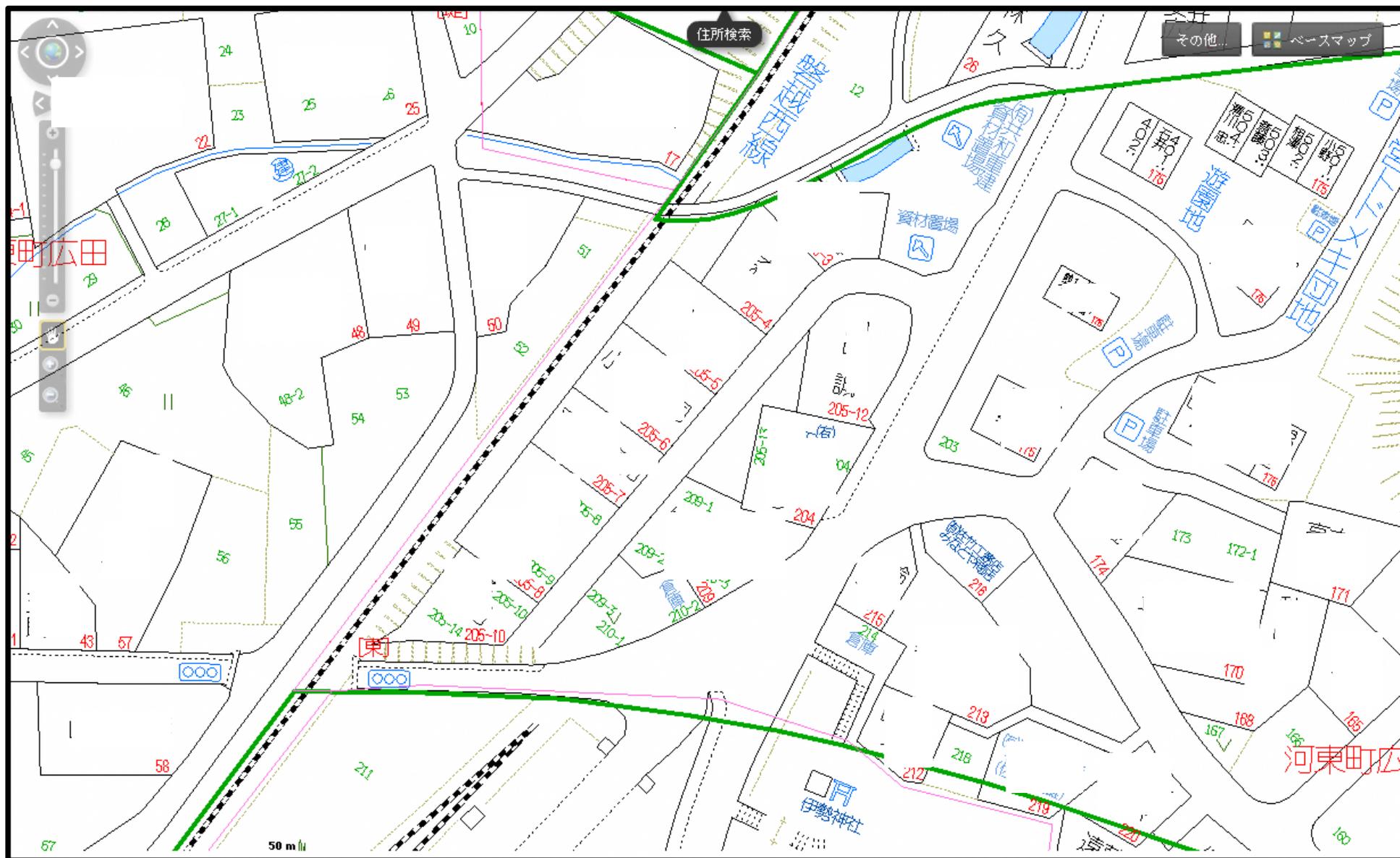
異動事由	異動区分	GIS入力
転入	全	○
	一	×
出生	一	×
職権回復 転出取消 住所設定	全	○
	一	×
転居	全全	○
	全一	×
	一一	×
	一全	○
世帯分離	一全	○

異動事由	異動区分	GIS入力
世帯合併	全一	×
転出	全	×
	一	×
死亡	全	×
	一	×
職権消除	一全	×
世帯主変更	全	×
項目修正 訂正変更	一	※○



# 2. 住基ポイントデータの更新方法

## ①画面ハードコピー印刷



# 2. 住基ポイントデータの更新方法

## ②場所を聞取り



# 2. 住基ポイントデータの更新方法

## ③ GISへ入力

次処理選択

終了 次へ ヘルプ

業務選択

順次処理を行う場合は次へボタンを押してください。▶の処理が実行されます。  
単独で処理を行う場合は直接実行ボタンを押してください。

業務	内容	結果
国保	国保処理を行います。	実行
▶ 印鑑	印鑑処理を行います。	実行
年金	年金処理を行います。	実行
証明書発行	証明書発行処理を行います。	実行
教育	教育処理を行います。	実行
▶ 聞き取り	同一異動事由による連続処理を行います。	実行

GIS用世帯番号  コピー

業務ガイド

以下の作業を行う必要があります。  
印鑑登録者について、住民票の4  
必要に応じて印鑑処理を実行願

Microsoft Internet Explorer

クリップボードにコピーしました。

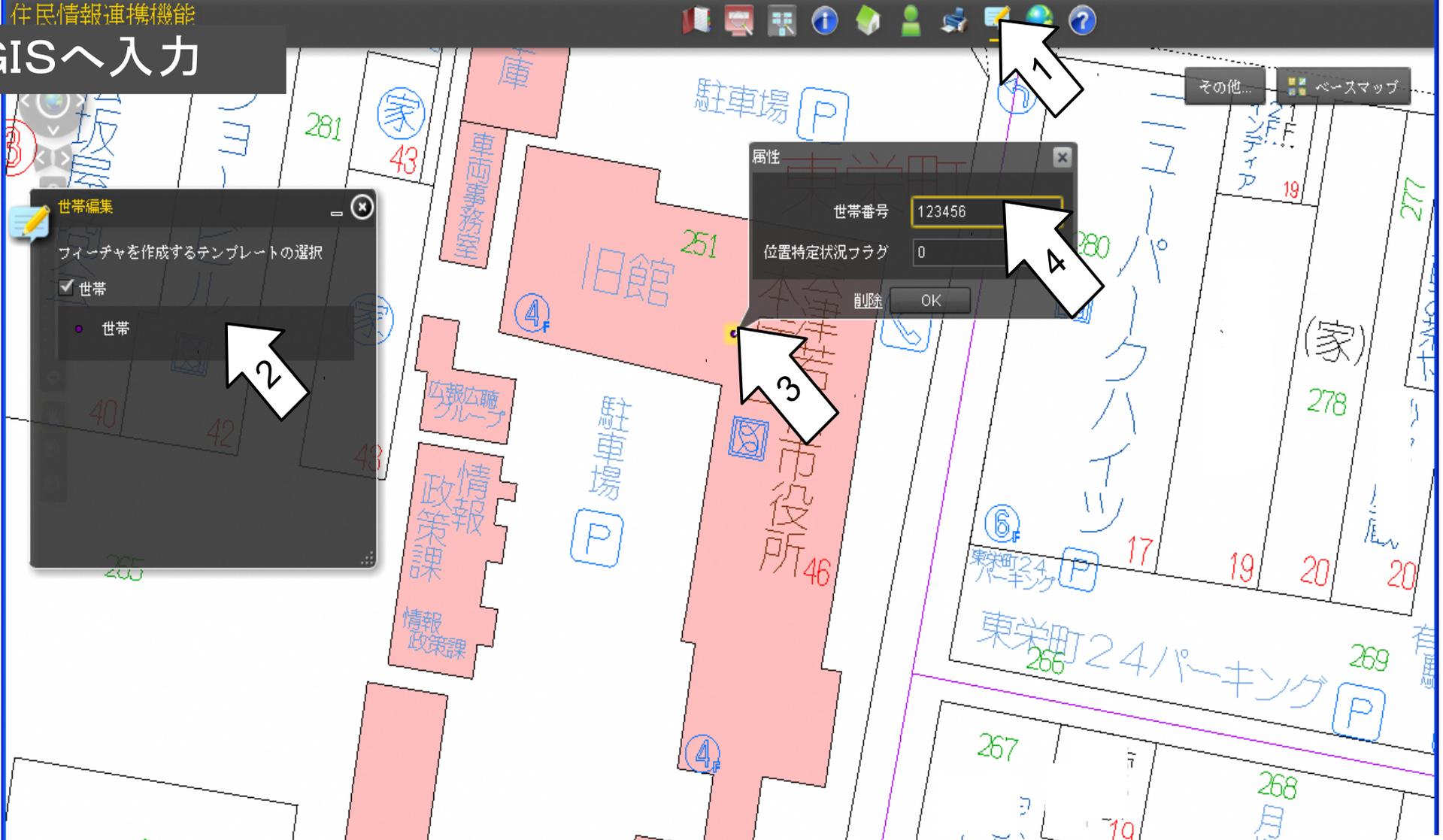
OK

通常どおりWideGVの入力を行い、更新を行うとGISの更新が必要な場合のみ「GIS用世帯番号」が表示されます。

# 2. 住基ポイントデータの更新方法

住民情報連携機能

## ③GISへ入力

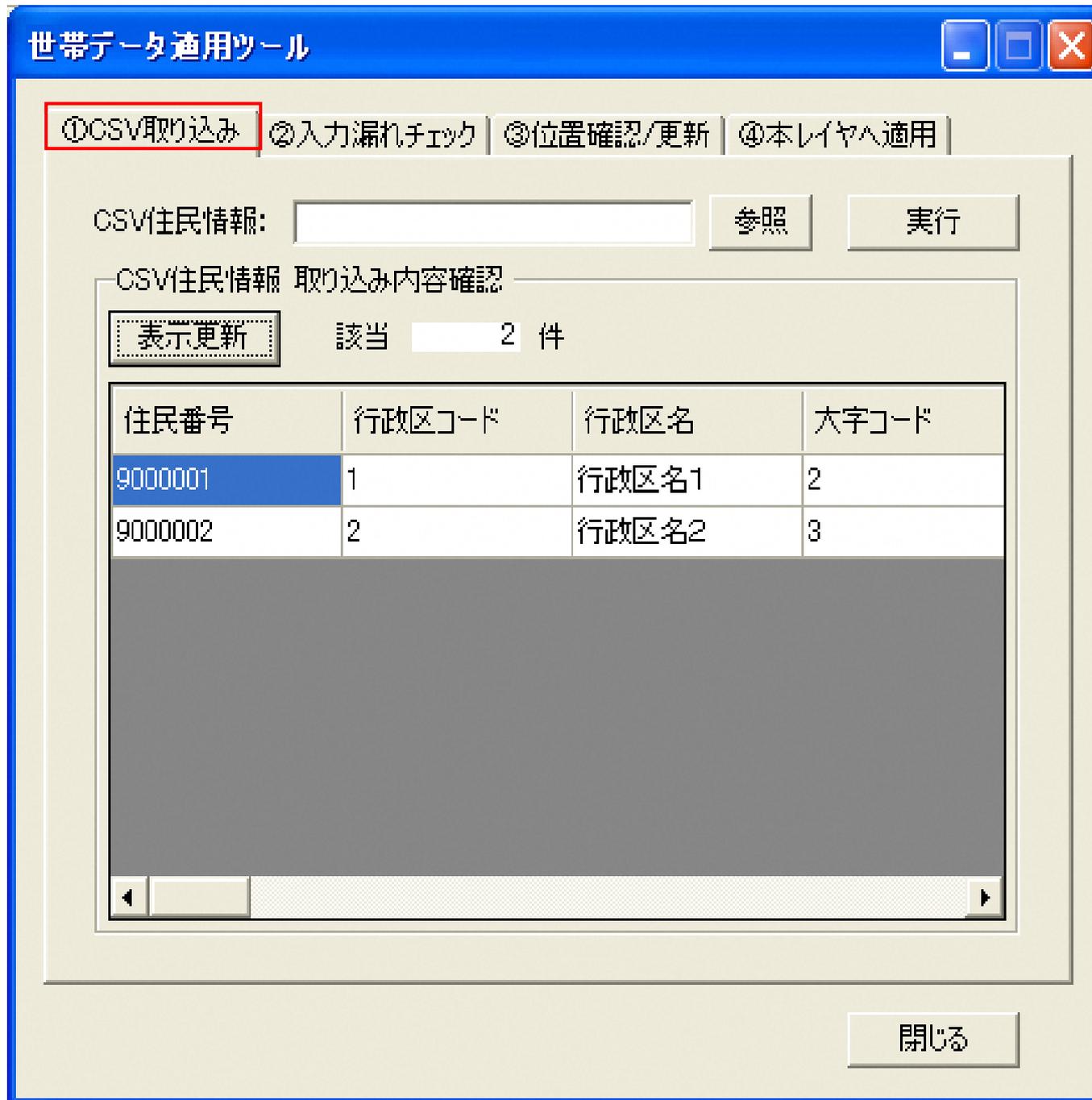


- 1 上メニューの「世帯編集」をクリック
- 2 「世帯」をクリック
- 3 場所をクリック
- 4 「世帯番号欄」に「Ctrl+V」で貼り付けして下さい。

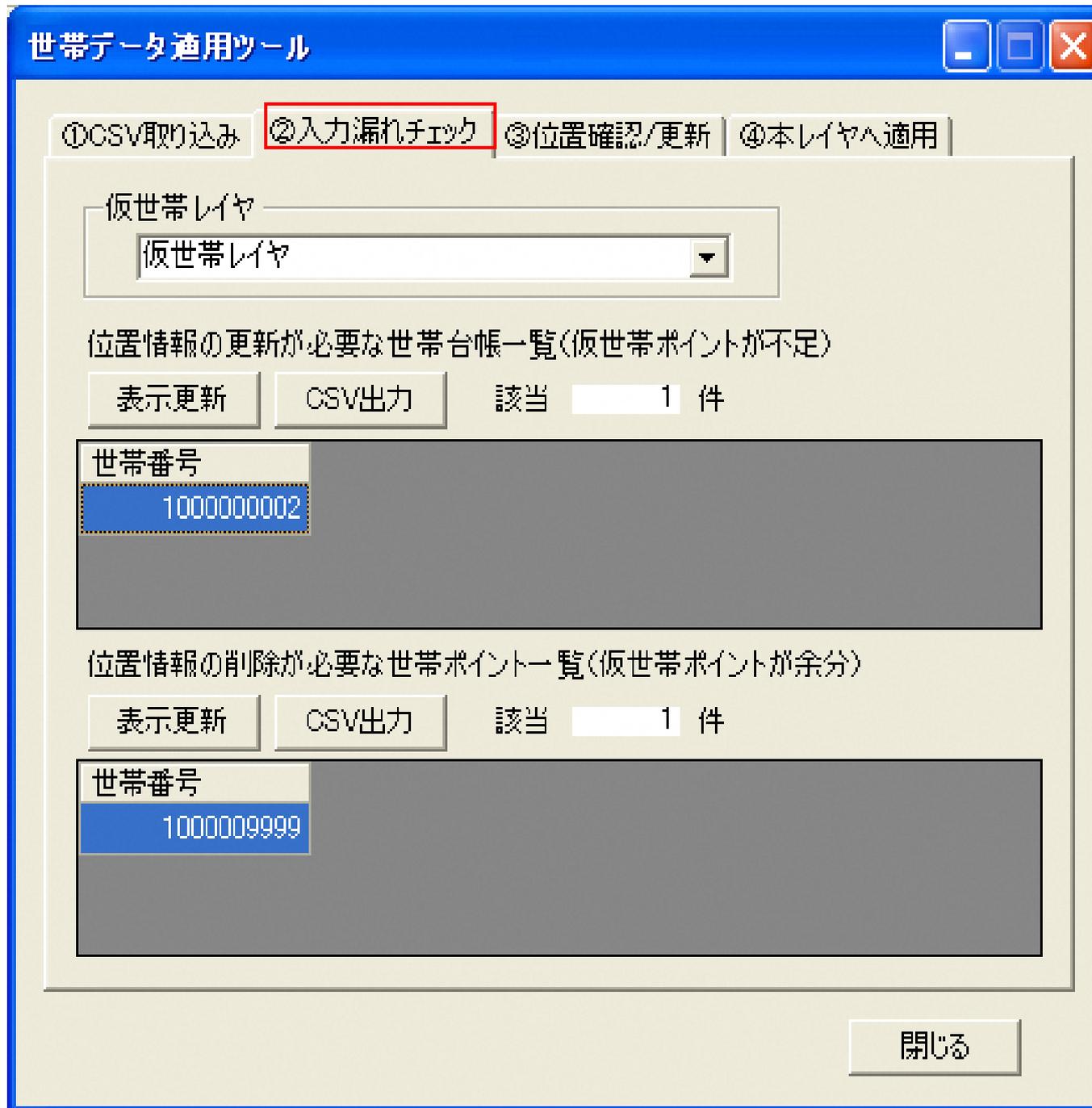
# 会津若松市における 住基空間情報を活用した 行政課題解決への挑戦！！

1. 導入背景と構築への道のり
2. 住基ポイントデータの更新方法
3. 住基ポイントデータの確認方法
4. 活用事例について

# 3. 住基ポイントデータの確認方法



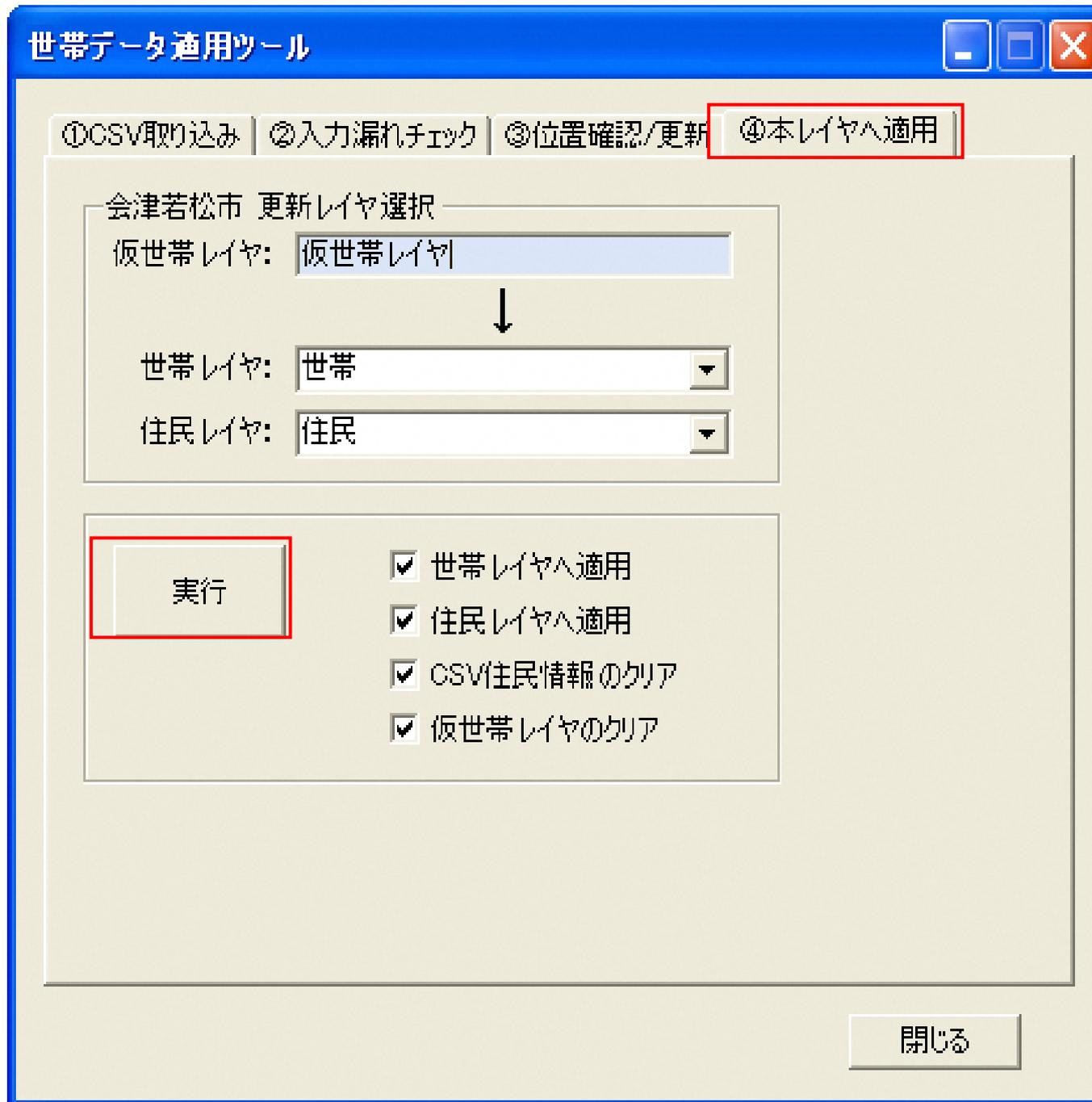
# 3. 住基ポイントデータの確認方法



# 3. 住基ポイントデータの確認方法



# 3. 住基ポイントデータの確認方法



# 3. 住基ポイントデータの確認方法



世帯データ適用ツール

②

③

CSV住民情報: [ ] 参照 実行

CSV住民情報 取り込み内容確認

表示更新 該当 2 件

住民番号	行政区コード	行政区名	大字コード
0000001	1	行政区名1	2
0000002	2	行政区名2	3

⑤

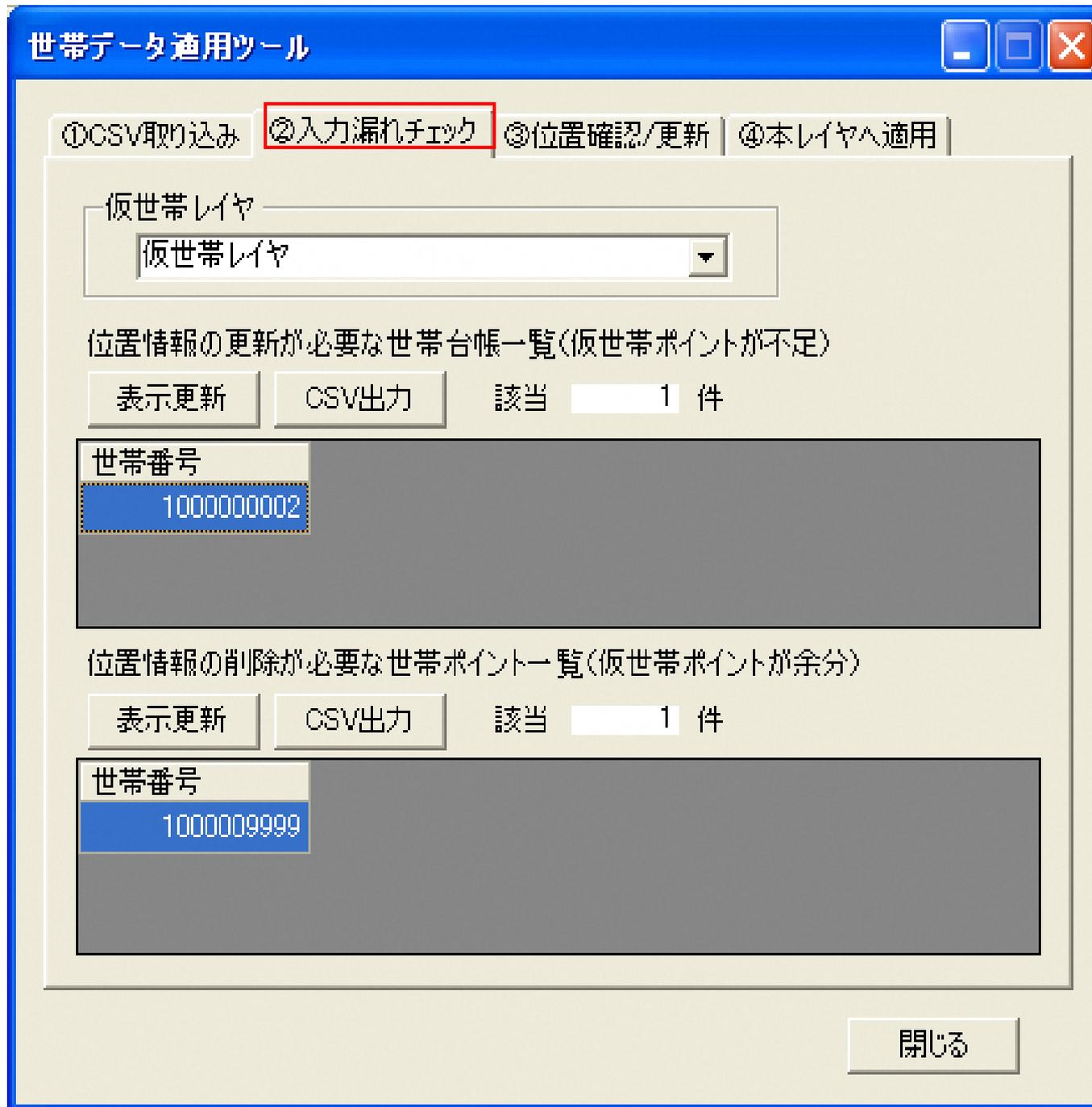
閉じる



④

(新規・変更)

# 3. 住基ポイントデータの確認方法



# 3. 住基ポイントデータの確認方法

tmp\_会津若松市【市民課】メンテナンス用.mxd - ArcMap

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ブックマーク(B) 挿入(I) 選択(S) ジオプロセッシング(G) カスタマイズ(C) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

1:6,000

コンテンツ

レイヤ

- 市民課
  - 住民
- 世帯
- 仮世帯\_会津若松市
- 学校教育課
  - 小学校区エリア
  - 中学校区エリア
- 選挙管理委員会
  - 投票区エリア
- 共通
  - 公共施設
  - 行政区域エリア
  - 統計データ\_H17国勢調
- 都市計画課
  - 白地図
  - 道路維持課
    - 市道路線網図
- 国土数値情報(福島県)
  - 指定地域
  - 自然
  - 土地関連
  - 国土骨格
  - 施設
  - 産業統計
- ベースマップ
  - 住宅地図
  - iPC道路地図
  - 基盤地図情報
  - 航空写真(H22撮影)
  - 都市計画図

世帯データ適用ツール

①CSV取り込み | ②入力漏れチェック | **③位置確認/更新** | ④本レイヤへ適用

世帯情報

世帯コード: 1000000002 [照会] [地図]

住民番号	氏名	住所	続柄
9000002	漢字氏名2	住所〇町二丁目△-×	妻

世帯位置更新

登録・変更 | 削除

位置指定 (XY)

位置指定レベル: 確認済

[更新] [閉じる]

8982.819 166322.321 メートル

# 3. 住基ポイントデータの確認方法

世帯データ適用ツール

①CSV取り込み | ②入力漏れチェック | ③位置確認/更新 | ④本レイヤへ適用

会津若松市 更新レイヤ選択

仮世帯レイヤ: 仮世帯レイヤ

↓

世帯レイヤ: 世帯

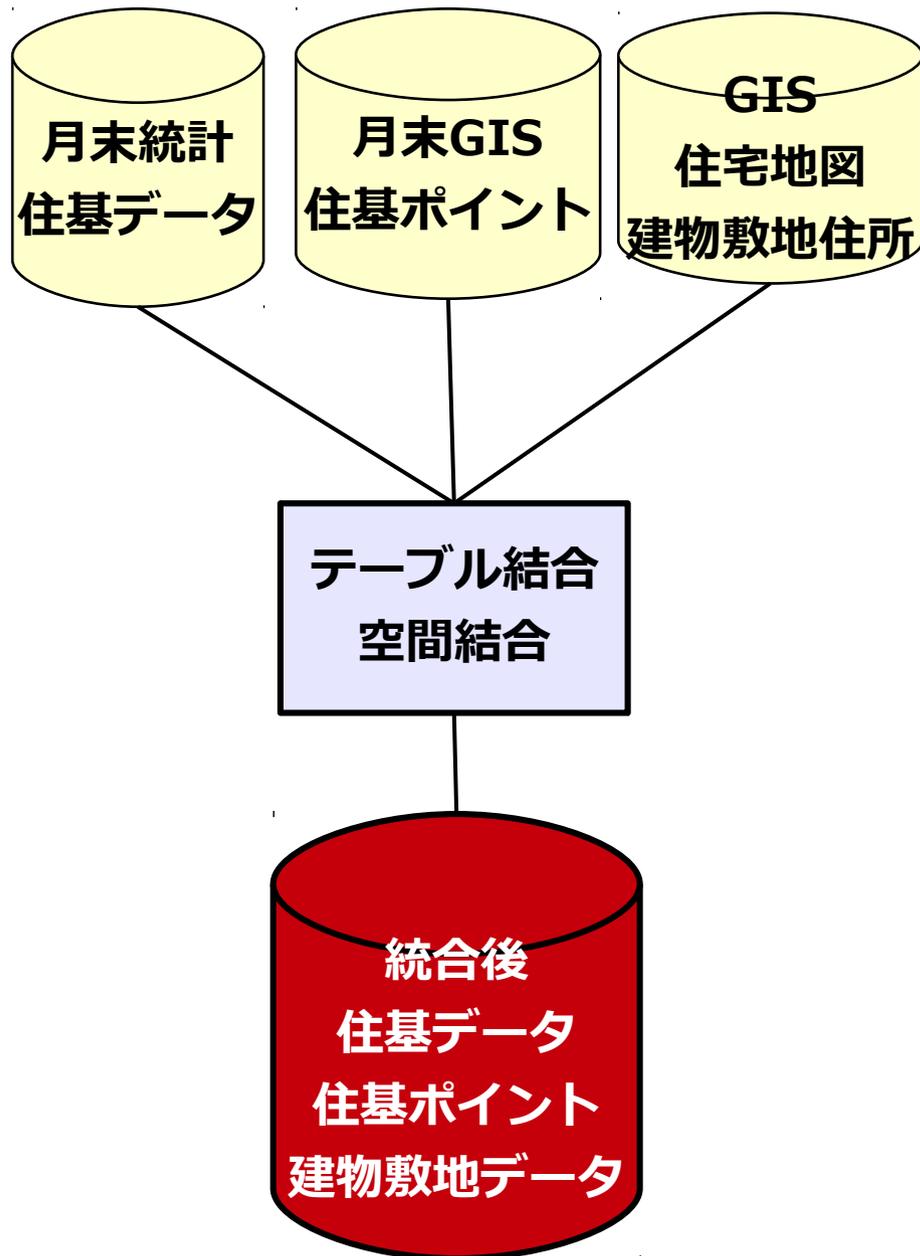
住民レイヤ: 住民

実行

- 世帯レイヤへ適用
- 住民レイヤへ適用
- CSV住民情報のクリア
- 仮世帯レイヤのクリア

閉じる

# 3. 住基ポイントデータの確認方法



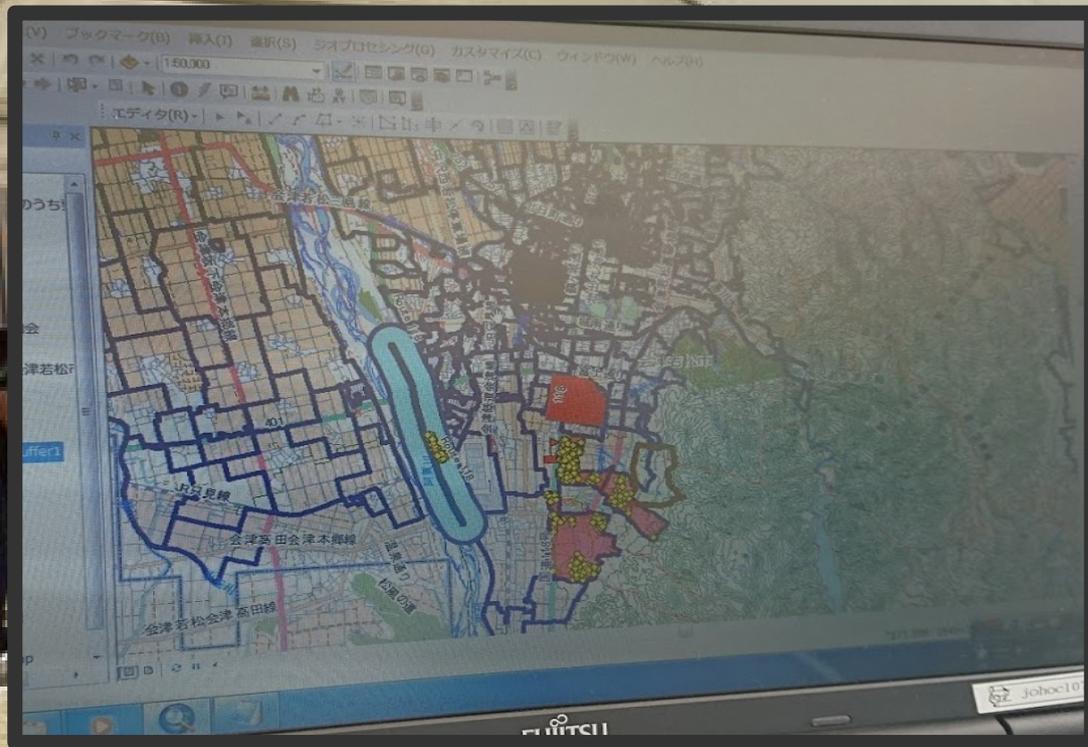
統合後のデータを使い毎月月末  
処理時に実施

- 1 月末人口データと件数確認
- 2 全てのデータの結合確認  
・最初と最後のデータ確認
- 3 住基の住所と、住宅地図の住所の合致確認  
(ポイント入力是人が行うので入力違いが発生する場合あり)

# 会津若松市における 住基空間情報を活用した 行政課題解決への挑戦！！

1. 導入背景と構築への道のり
2. 住基ポイントデータの更新方法
3. 住基ポイントデータの確認方法
4. 活用事例について

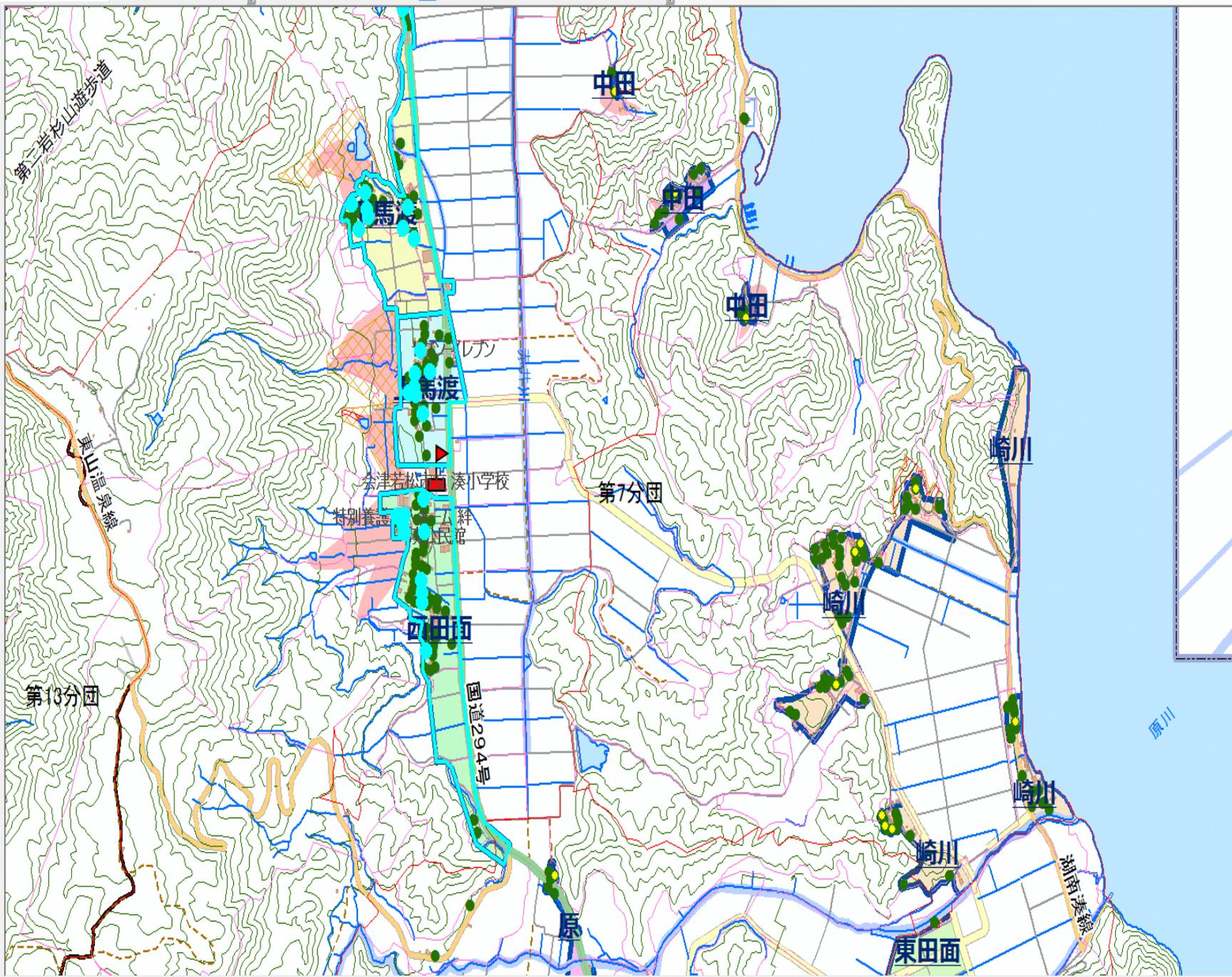
# 活動内容 「要援護者の支援」で活用



H28.8.28 「福島県防災訓練 in 会津若松」

コンテンツ

- レイヤ
- 災害対策本部
  - 要支援者データ
  - 市民課
  - 住民\_会津若松市
  - 世帯\_会津若松市
  - 世帯\_会津若松市
  - 住宅地図
  - OpenStreetMap
  - 5kmesh\_aizu
  - 町内会エリア図
  - 土砂災害警戒区域
  - 土砂災害危険箇所（土石流）
  - 消防団エリア
  - 家屋倒壊危険区域（阿賀川）
  - 最大想定浸水エリア（阿賀川）

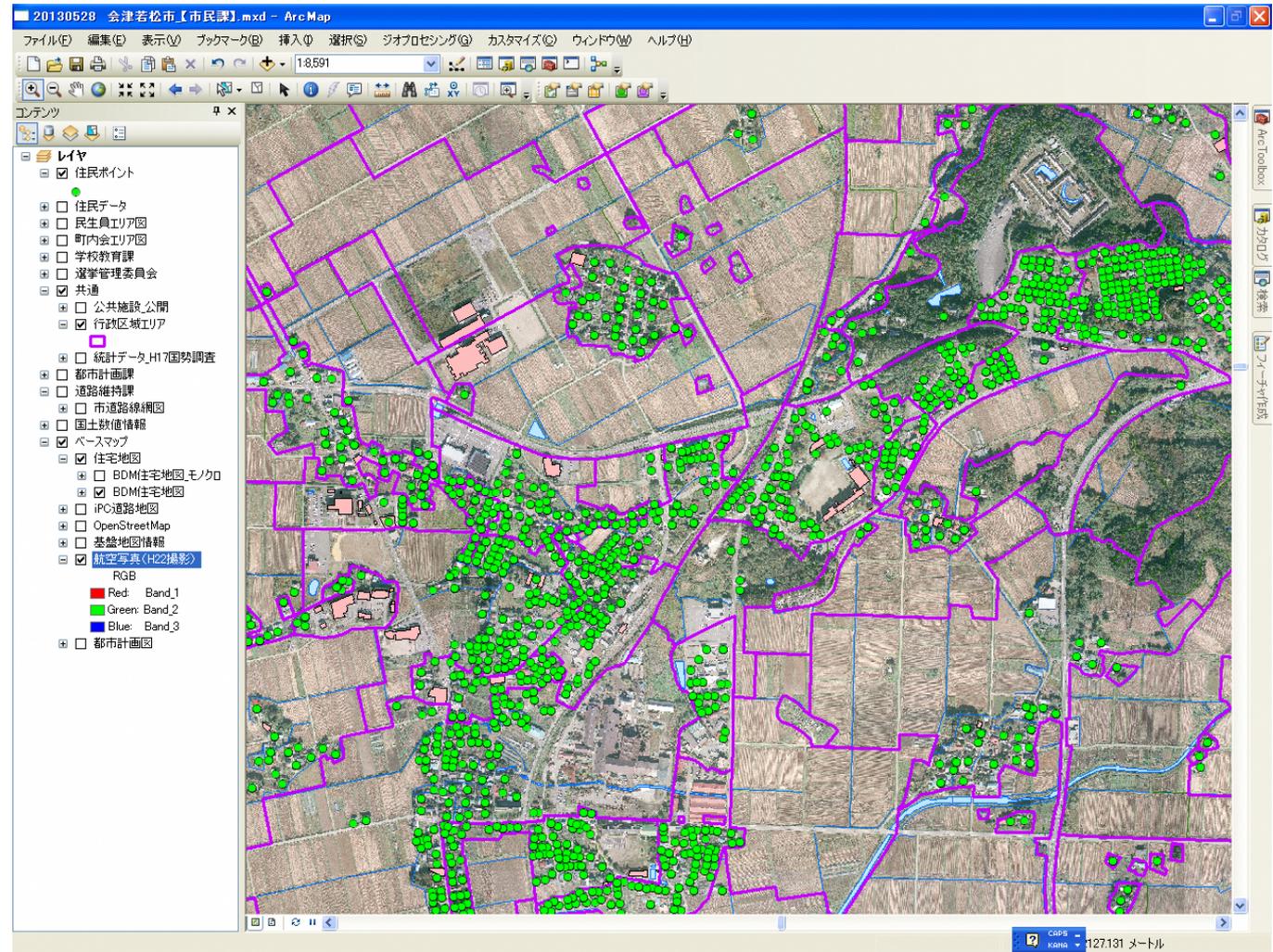




# 空き家対策としての活用

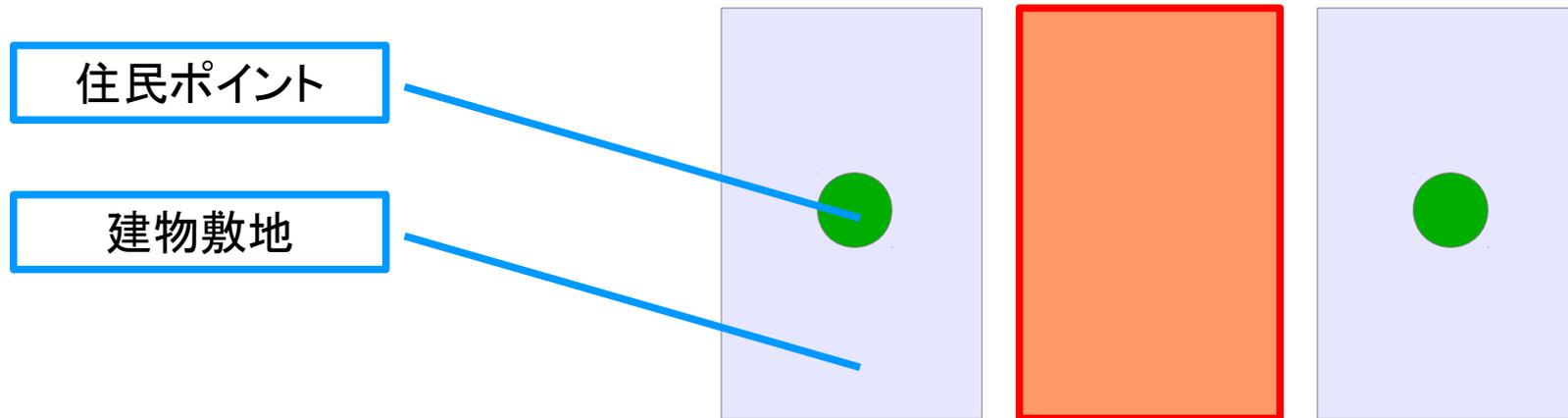
# 用意するもの

- 住宅地図
- 住民ポイント



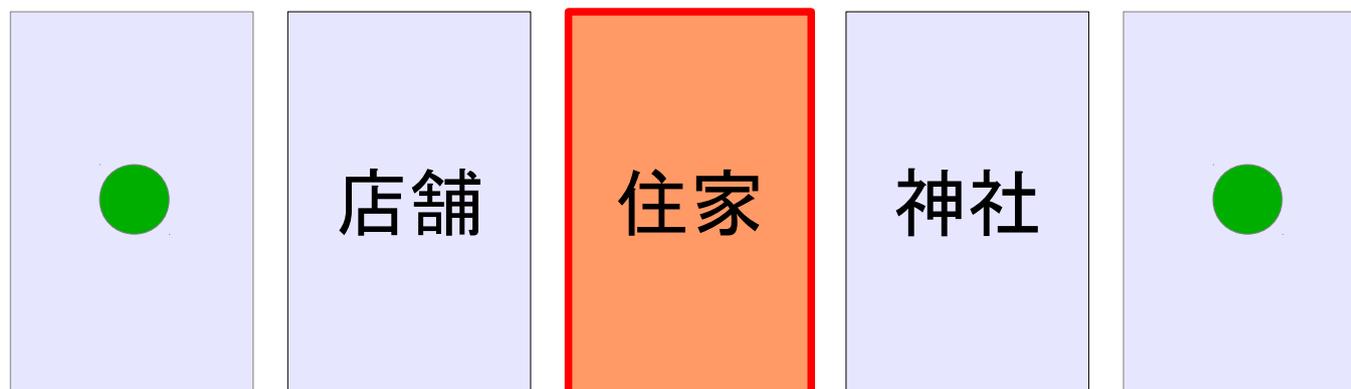
# 用意するもの

- 住民ポイントの無い建物 = 空家



# 人が住まない建物を排除できれば

- 住民ポイントの無い建物 = 空家
- かつ、人の居住に用する建物





結果：約5,000件を抽出

# 浸水想定区域 想定最大規模雨量への対応



# 旧 浸水想定区域図 (48時間総雨量236mm)

2.0m以上

住民データ

該当者13人

該当町内会 3

無題 - ArcMap

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ブックマーク(B) 挿入(I)

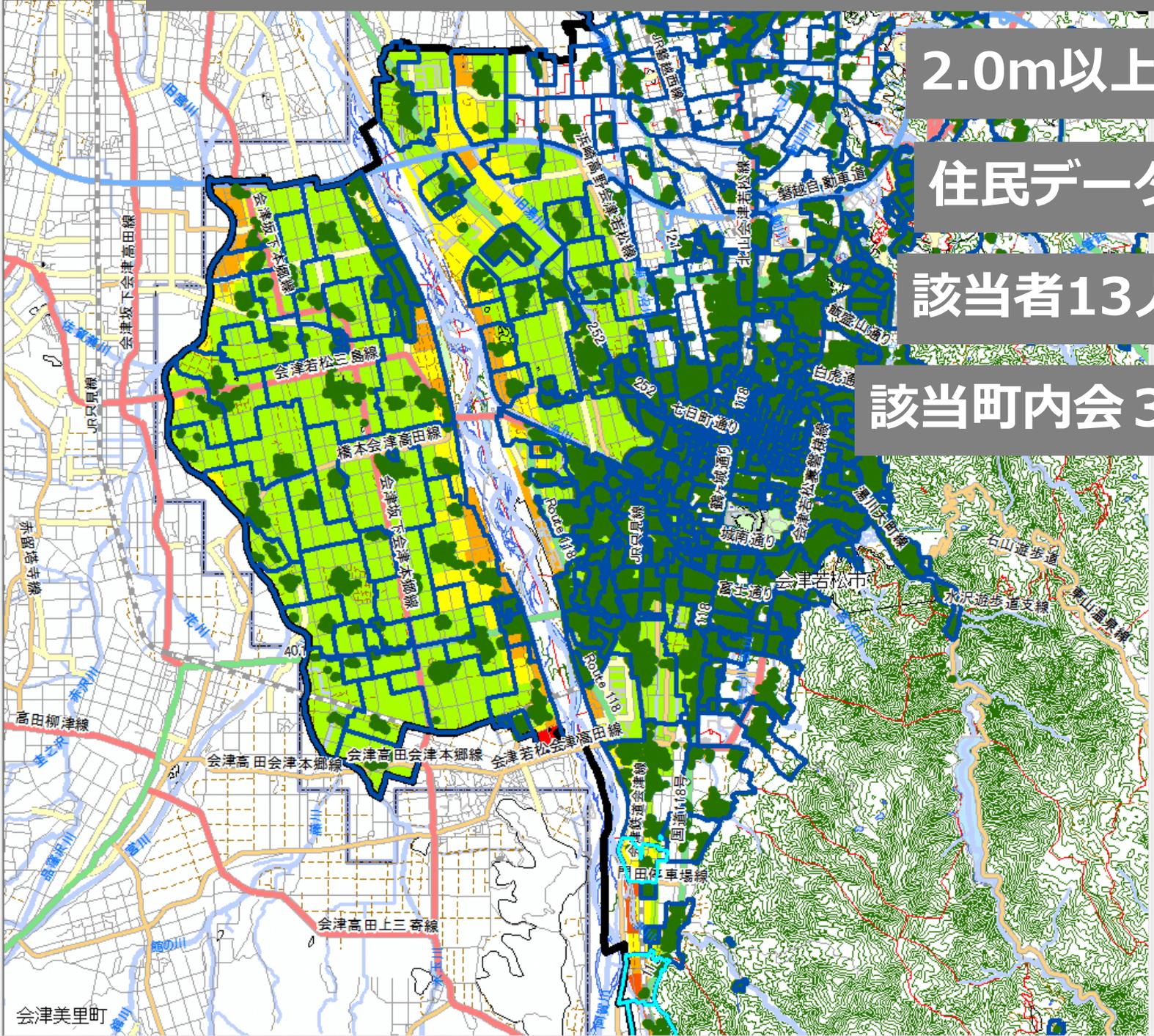
1:60,000

コンテンツ

- マップレイヤ
  - 町内会エリア図
  - 住民\_会津若松市
  - 市区町村界
  - OpenStreetMap
  - 洪水ハザードマップ
    - 浸水深区分
      - 0~0.5m
      - 0.5~1.0m
      - 1.0~2.0m
      - 2.0~5.0m
      - 5.0m以上
  - 阿賀川+日橋川浸水想定+湯川<その他の値すべて>
    - 浸水深ランク会津若松
      - 0-50cm
      - 50cm-1m
      - 1-2m
      - 2-5m
      - 5m以上
  - ベースマップ

会津美里町

選択されたフィーチャ数: 3



# 新 浸水想定区域図 (48時間総雨量533mm)

2.0m以上

住民データ

該当者15,028人

該当町内会104

無題 - ArcMap

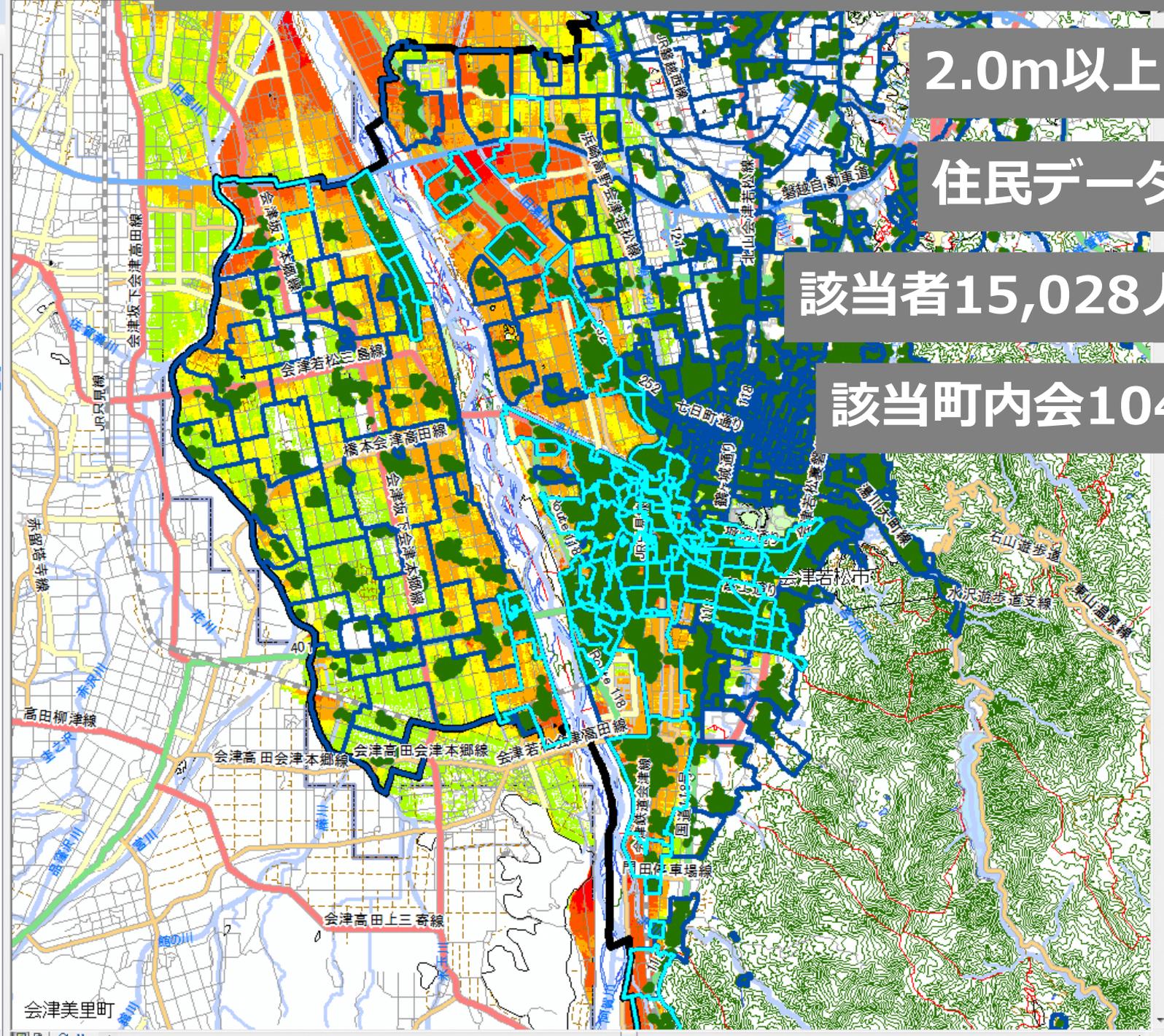
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ブックマーク(B) 挿入(I)

1:60,000

コンテンツ

マップレイヤ

- 町内会エリア図
- 住民\_会津若松市
- 市区町村界
- OpenStreetMap
- 洪水ハザードマップ
- 浸水深区分
  - 0~0.5m
  - 0.5~1.0m
  - 1.0~2.0m
  - 2.0~5.0m
  - 5.0m以上
- 阿賀川+日橋川浸水想定+湧
- <その他の値すべて>
- 浸水深ランク会津若松
  - 0-50cm
  - 50cm-1m
  - 1-2m
  - 2-5m
  - 5m以上
- ベースマップ

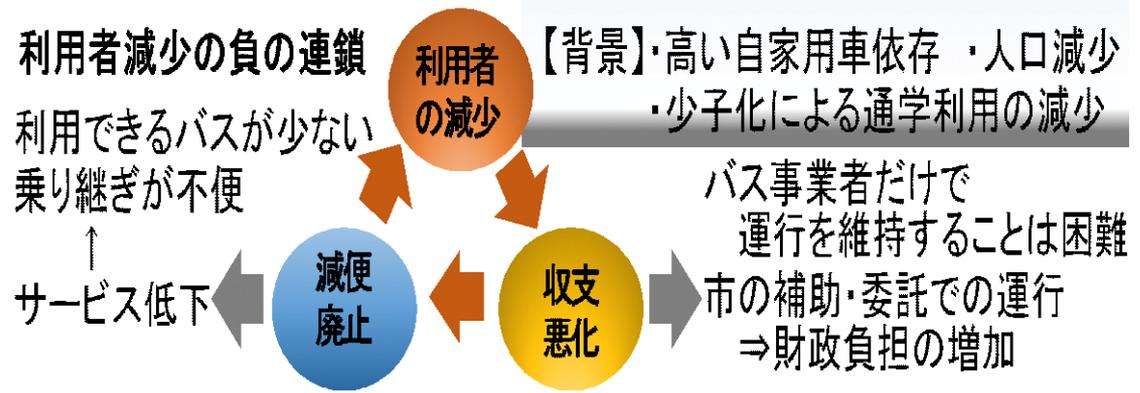
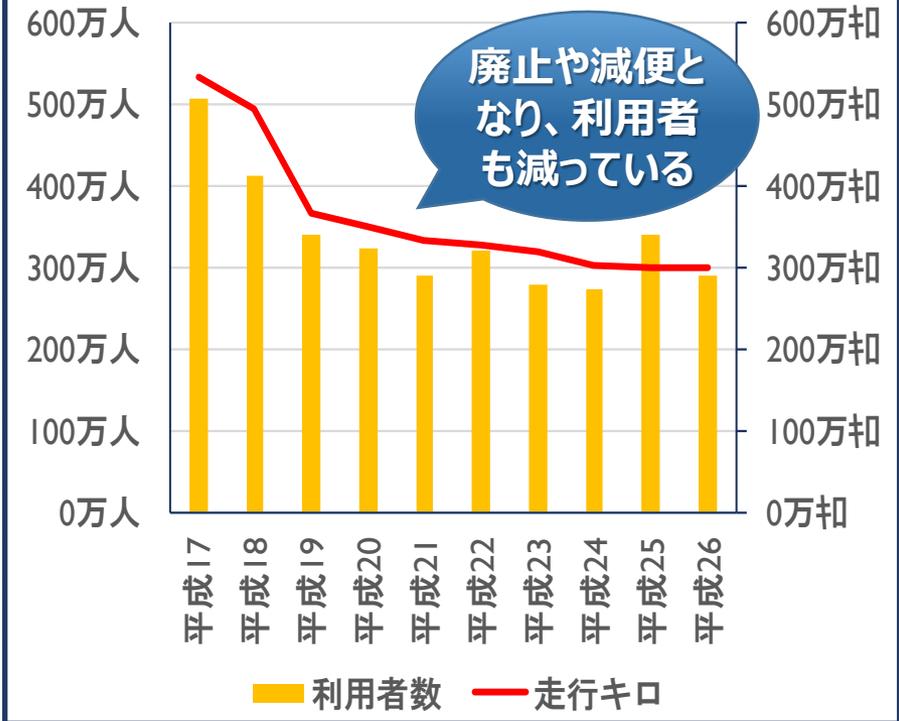


# 路線バスを取り巻く現状と課題①

会津管内の路線バス利用者数と自家用車保有台数の推移



会津管内の路線バス利用者数と走行キロ数の推移



負のスパイラルから抜け出せない  
何とかしなければ！

# 公共交通功績たたえる

## 若松の金川町・田園町バス協

国土交通省が地域公共交通に関する模範的な功績があった団体などを表彰する本年度の「地域公共交通優良団体大臣表彰」の表彰式は12日、東京で行われ、本

夫、事業の自立性・継続性などを基準に選考している。式では、受賞した全国五つの受賞者の関係者が出席し、石井啓一国土交通相から表彰状を受けた。

県初受賞の会津若松市の金川町・田園町住民コミュニティバス運営協議会（菊地良三会長）の功績がたたえられた。

表彰制度は2009（平成21）年度に開始。住民やNPO、企業などを対象に、地域の実情に合った創意工

同協議会は公共交通の空白地帯で、住民の主體的な参画によってコミュニティバス「さわやか号」の本格運行を14年度に開始。住民意見の把握・検証をしながら地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んでいく点が評価された。

菊地会長は「身に余る大きな賞を頂戴し感激ひとしおだ。これは多くの方々が一體となって真剣に取り組んだ結果で感謝の念でいっぱい。バスが地域の足として定着するように、さらなる進化を目指す」と語った。



石井国交相（前列中央）から表彰を受けた菊地会長（同右）ら協議会メンバー

## 国交大臣表彰を受賞

### 金川町・田園町住民コミュニティバス運営協議会（福島県会津若松市）

狭い交通空白地へのコミュニティバス運行について、不調に終わった実証実験後も約2年にわたり住民・市・交通事業者による議論や検証を粘り強く行い、住民主体の運営協議会を立ち上げ本格運行を実現するとともに、地域の関係者が協働した運営を行うことで安定的な運行を確立・維持している。

#### （取組みの概要）

#### 1. 「みんなが当事者」、住民・市・交通事業者による役割分担

- 約2年にわたる議論の中で、地域の関係者の役割分担を決定。
- 本格運行後も、地元スーパーや非利用者からの支援・連携を拡大。（買い物金額に応じたポイント特典、寄付者からの応援メッセージ掲載）

#### 2. 「お願い」からの脱却、住民主体の議論・検証

- 本格運行に向けたヒアリングや記名式アンケートには町内会が全面的に協力。
- 利用希望者を住民のロコミで探す運動を展開。度重なる意見交換によりニーズを把握。
- 住民主体の運営協議会を設立し、本格運行を開始。
- 運営収益の基準額を設定（運行協定）→基準収益の確保は協議会の使命

#### 3. 「おらほのバス」の継続に向けた不断の取組

- 毎月1回の運営協議会の開催、記名式アンケート（回収率70%）の実施（運行実績の確認と共有、住民の実情を踏まえた現実的な分析、各種利用促進策（乗車体験ツアー、定期ランチ会等）の検討）
- 民地へのバス停増設や増便を実現
- 実証実験時から運行量は4分の1以下に縮減した一方、利用者は3倍近くに。

【運行の枠組】

【スーパーの特典】

【全戸配布チラシ（応援メッセージ）】

「今日は〇〇さんが怪表をして乗らなくなったので利用者が減っている」

「この頃は〇〇さんが通院で使うようになったので利用者が増えている」

「さわやか号」

このほり度を作成

収入率

基準収益(20%)

実証実験時(H23.7~H24.3)			本格運行後(H26.11~H29.1現在)		
一日あたり運行量	一日あたり運行量	一日あたり利用者	一日あたり運行量	一日あたり運行量	一日あたり利用者
9便(3コース)	63便(3コース)	4.1人	3便(1コース)	15便(1コース)	11.8人

## 金川町・田園町住民コミュニティバスの取組から学んだこと

### 地域と連携して 取り組む

市だけで考え、取り組むには限界がある。地域と連携することで本当に地域に必要な交通がつかれる。

利用者  
起点

データの  
共有

### データに基づき 検討する

KKD(経験、勘、度胸)で考え、取り組むには限界がある。データに基づく冷静な検討が必要。

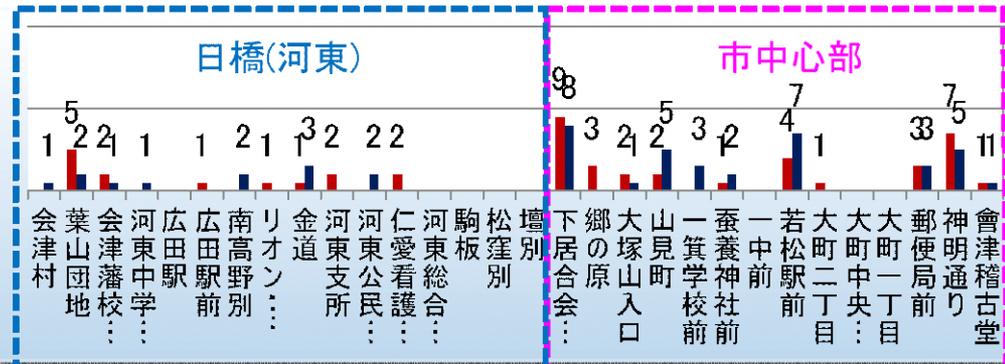
公共交通網形成計画・再編実施計画の策定  
今後の公共交通の取り組みにおける基本方針とする<sub>13</sub>

# データを把握し分析する～バス乗降調査

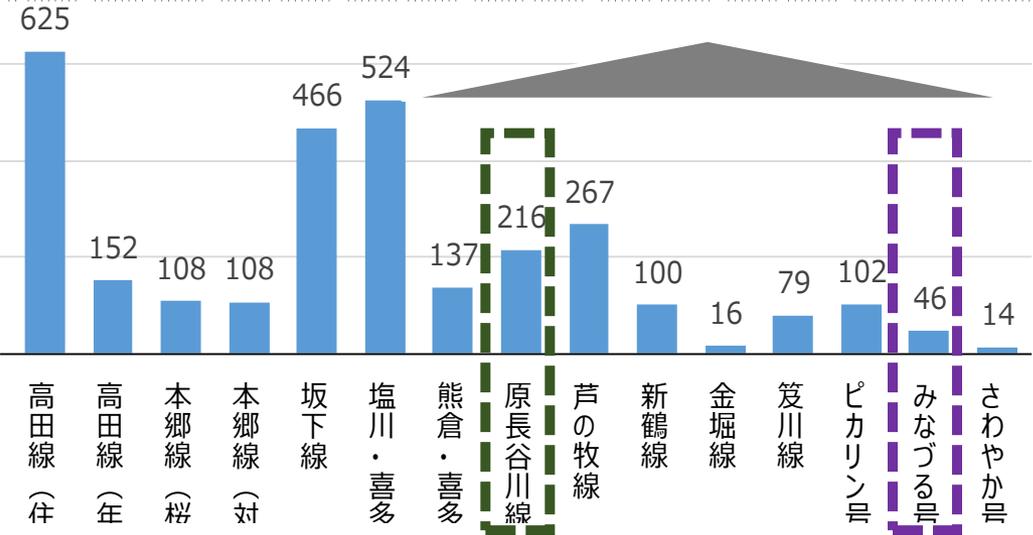
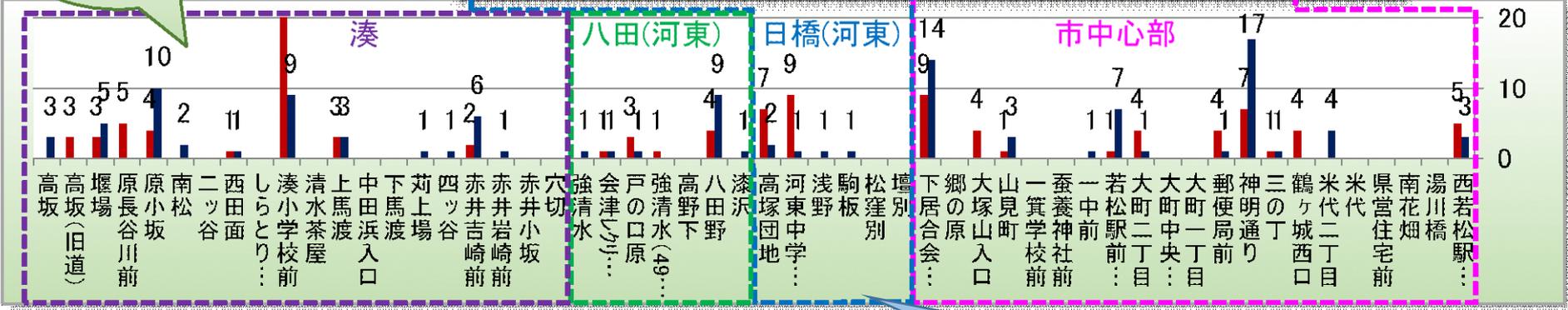
1日当り利用者

- 乗車(人)
- 降車(人)

**【原長谷川線】**  
 ・1日 6往復の運行  
 ・1日の利用者216人



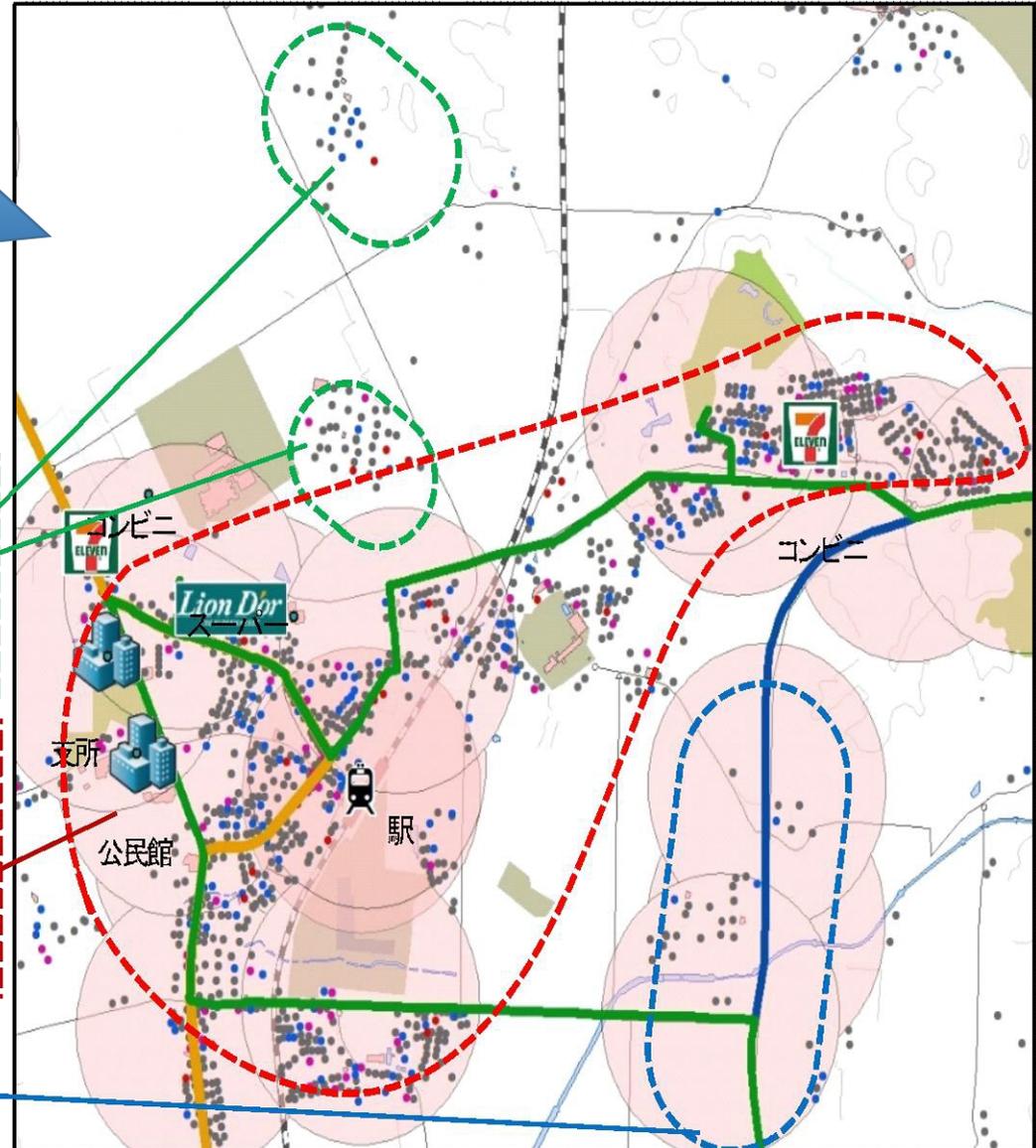
**【みなづる号】**  
 ・1日 6往復の運行  
 ・1日の利用者46人



乗降データをバス停や集落単位まで“小さく”把握し、地域の方々と共有することで、バス利用者のイメージがしやすくなった  
 (ウチの集落は〇〇さんがバスに乗っている！)

現況や課題を“見える化”し共有することで、運行すべき交通のイメージがしやすくなった（ここには〇〇さんしかいないのだから、バスよりもタクシーの方が良いのでは？）

※市担当職員も、コンサル頼りではない、仮説を持った検討が可能となった



- 【凡例】
- 人が住んでいるところ
  - バス路線
  - バス停から 300m 区域

- 交通空白・生活不便地域
- 人 □:〇〇人
  - 単身女性高齢者:〇〇人
  - 高校生層:〇〇人
  - ・集落散在し、人口もまばら

- 人口集中・便利施設集中地域
- バス利用者が多い地域
- 人 □:〇〇人
  - 単身女性高齢者:〇〇人
  - 高校生層:〇〇人
  - ・住宅地が密集し、人口も多い

- バス沿線だが利用者が少ない地域
- 人 □:〇〇人
  - 単身女性高齢者:〇〇人
  - 高校生層:〇〇人
  - ・集落散在し、人口もまばら

住基と連動したGISシステムを活用

# データを把握し分析する～乗降・人口の相関把握

## バス停ごとの利用者数、300m圏内人口を400バス停ごとに整理

バス停名称	乗降数	乗車数	降車数	総人口	高齢者(65歳以上)	単身高齢者	単身女性高齢者	後期高齢者(75歳以上)	単身後期高齢者	単身女性後期高齢者	高校生層(15～18歳)	交通弱者(単身女性高齢者+高校生)
	53	27	26	985	116	38	30	61	30	24	91	121
	87	26	61	633	114	21	14	34	9	7	30	44
	40	26	14	889	201	61	44	101	34	30	26	70
	40	22	18	371	111	26	20	61	19	17	23	43
	43	22	21	1274	183	59	40	94	38	29	84	124
	51	22	29	1433	214	55	31	93	28	19	73	104
	39	21	18	1408	353	97	72	195	67	53	66	138
	38	19	19	181	59	10	7	29	6	5	9	16
	33	18	15	969	244	51	41	113	26	23	46	87
	32	17	15	236	72	7	5	42	6	5	9	14
	29	16	13	1113	407	118	81	202	63	45	49	130
	39	16	23	1388	366	66	45	183	41	32	72	117
	22	15	7	1605	481	171	121	249	95	80	55	176
	34	14	20	171	74	20	14	46	11	9	4	18
	34	14	20	198	43	5	3	31	2	1	9	12
	29	14	15	1630	289	53	40	135	29	26	70	110
	21	13	8	196	116	85	68	89	71	59	1	69
	24	13	11	179	78	7	6	48	6	6	4	10
	25	12	13	1356	421	94	70	181	49	37	61	131
	32	12	20	1021	210	33	24	101	20	15	52	76
	14	10	4	223	86	15	11	55	12	10	2	13
	19	10	9	719	127	25	17	51	15	11	38	55
	24	9	15	101	42	8	6	25	4	3	3	9
	30	9	21	106	78	54	44	65	52	42	1	45
	19	9	10	1403	332	84	64	173	55	46	55	119
	13	9	4	118	43	2	2	23	1	1	1	3
	12	8	4	1145	253	66	49	128	40	33	38	87
	12	8	4	136	50	10	7	25	7	5	6	13
	13	8	5	55	18	18	5	1	1	0	0	5
	15	7	8	976	187	42	35	74	18	18	49	84
	11	7	4	1176	381	111	72	199	68	52	44	116
	18	7	11	800	163	20	12	83	13	8	28	40
	8	6	2	190	65	8	8	47	8	8	4	12
	15	6	9	162	38	5	3	15	2	2	9	12

## バス停乗降数

## バス停別乗降数と300m圏内の総人口の関係

Ⅱ. 顕在 > 潜在  
【ルート】良好  
【本数】良好  
【利用促進】拡充

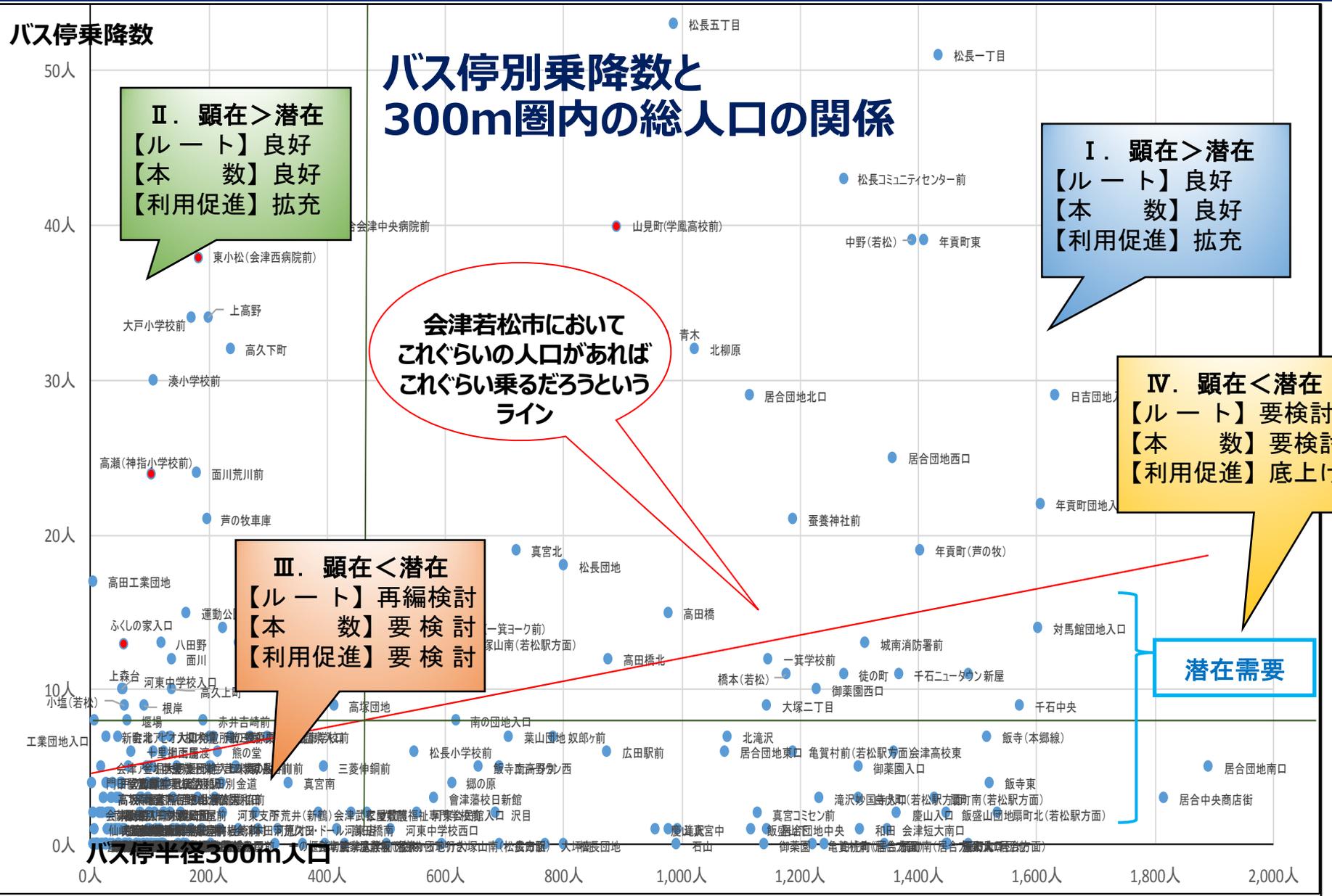
Ⅰ. 顕在 > 潜在  
【ルート】良好  
【本数】良好  
【利用促進】拡充

会津若松市において  
これぐらいの人口があれば  
これぐらい乗るだろうという  
ライン

Ⅲ. 顕在 < 潜在  
【ルート】再編検討  
【本数】要検討  
【利用促進】要検討

Ⅳ. 顕在 < 潜在  
【ルート】要検討  
【本数】要検討  
【利用促進】底上げ

潜在需要



# データを把握し分析する～バス停・路線別特性分析

## 公共交通の潜在・顕在ニーズの比較分析

バス停の 顕在、潜在的 状況	潜在需要 の大きさ	検討すべき事項と 取り組みの方向性			備考	主要な該当バス停(路線)
		ルート	本数	利用促進		
I 顕在>潜在	大きい	良好	良好	拡充	更なる利用拡大 を図るための利 便性向上を検討	・松長一丁目(松長団地・西若松駅線) ・松長五丁目(松長団地・西若松駅線) ・松長コミュニティセンター前(松長団地・西若松駅線) ・年貢町東(神明・千石線、ひまわりくん) ・中野(芦の牧線) ・青木(神明・千石線) ・北柳原(塩川・喜多方線、熊倉・喜多方線、笈川線)
II 顕在>潜在	小さい	良好	良好	—	※目的地バス停 の可能性が大 きい	・上高野(笈川線) ・面川荒川前(芦の牧線) ・芦の牧車庫(芦の牧線) ・高田工業団地(住吉町経由高田線、年貢町経由高田線) ・高久下町(坂下線) ※東小松(会津西病院前)(住吉町経由高田線) ※大戸小学校前(芦の牧線) ※湊小学校前(原長谷川線)
III 顕在<潜在	小さい	見直し の 検討	減便の 検討	—	利用状況を踏ま えた路線の見直 しを検討	・金堀(金堀線) ・石ヶ森(金堀線) ・戸の口第三発電所(金堀線) ・滝沢坂下(金堀線) ・戸の口原(原長谷川線) ・会津レクリエーション公園(原長谷川線) ・会津村(みなづる号) ・河東総合体育館入口(みなづる号) ・金道(みなづる号) ・小見別(エコろん号) ・ホテルの森公園前(エコろん号) ・鈴漕入口(エコろん号)
IV 顕在<潜在	大きい	再編 検討	要検討	要検討	ルート及びダイヤ の見直しの必要 性を検討すると ともに、利用促進を 検討	・居合団地南口(中央病院・居合団地線) ・千石中央(神明・千石線) ・飯寺(桜町経由本郷線) ・間宮コミセン前(ピカリン号) ・石山(ハイカラさん、あかべえ) ・和田(ハイカラさん、あかべえ) ・対馬館団地入口(年貢町経由高田線、松長団地・西若松駅線、ひまわりくん) ・居合中央商店街(松長団地・西若松駅線) ・飯寺東(工業団地経由本郷線) ・千石ニュータウン(神明・千石線) ・新屋(芦の牧線)

どこから手をつけて良いか分らなかったが・・・  
取り組むべき路線やバス停が見えてくる

# データを把握し分析する～地域特性分析①

## 市内20行政区ごとの特性を整理（人口やアンケート結果を偏差値で把握）

項目	内容	中央部地域					郊外部地域														
公共交通空白地域	駅バス停300m圏内人口(%)	56	55	60	57	56	64	37	41	51	47	65	50	56	44	56	32	40	31	56	46
徒歩・自転車分担割合	通勤・通学_自転車(人)	54	60	51	67	48	62	46	43	46	78	50	56	42	42	43	42	43	44	42	42
	通勤・通学_徒歩(人)	57	57	64	54	65	52	49	41	42	70	49	65	42	42	42	41	42	42	42	41
	買い物_自転車(人)	55	55	56	65	59	59	46	43	44	78	47	56	42	42	42	43	42	44	42	42
	買い物_徒歩(人)	58	56	56	63	62	55	47	42	44	72	49	65	42	41	41	42	41	41	41	41
	通院_自転車(人)	54	54	58	61	61	62	45	43	46	77	46	59	41	41	41	44	41	44	41	41
	通院_徒歩(人)	64	56	64	60	67	56	44	43	43	67	44	57	41	43	41	44	41	41	43	41
	買い物_自転車(%)	60	61	59	70	65	59	53	44	47	59	48	49	39	39	39	46	39	46	39	39
	買い物_徒歩(%)	62	63	58	66	67	54	57	42	48	54	52	54	42	39	39	47	39	39	39	39
買い物利便性(頻度)	週5回以上(人)	49	55	55	60	58	57	47	42	45	78	47	67	42	41	44	42	44	42	41	42
	週3～4回以上(人)	56	51	54	58	54	60	46	42	43	76	53	68	40	41	40	41	42	45	44	43
	週1～2回(人)	52	51	54	48	54	54	45	45	47	79	52	74	42	42	46	41	42	46	44	43
	月2～3回(人)	48	50	50	65	43	67	48	43	45	77	48	65	45	43	48	48	43	45	40	40
	月1回程度(人)	66	43	55	43	43	43	43	43	66	77	55	55	55	43	43	43	43	43	55	43
	その他(人)	45	45	45	45	45	45	45	45	45	79	68	45	68	57	45	45	45	45	45	45
	未記入(人)	43	53	53	53	43	43	43	43	53	63	53	84	53	43	43	53	43	43	43	53
	計(人)	53	51	54	55	53	57	46	43	45	79	52	71	42	41	43	41	42	45	43	43
人口絶対数	総人口(人)	52	50	53	56	52	58	42	42	45	79	49	71	43	43	46	42	44	42	48	44
	高齢者(65歳以上)(人)	54	53	55	59	54	59	40	41	45	77	49	69	43	43	44	41	44	40	48	44
	単身高齢者(人)	59	57	60	58	56	59	40	40	45	72	49	66	44	43	42	40	43	40	44	42
	単身女性高齢者(人)	60	57	61	59	56	59	40	40	45	72	49	65	44	43	42	40	43	40	44	41
	後期高齢者(75歳以上)(人)	55	54	57	60	55	61	39	40	45	75	48	67	43	44	43	40	44	40	47	44
	単身後期高齢者(人)	60	56	61	59	56	59	40	40	46	72	49	65	44	44	41	40	44	40	44	42
	単身女性後期高齢者(人)	60	57	62	60	56	59	40	40	45	71	49	64	45	44	41	40	44	40	43	41
	高校生層(15～18歳)(人)	50	48	53	54	50	58	42	43	45	81	49	71	42	43	47	43	44	42	49	44
構成比	高齢者(65歳以上)(%)	48	56	47	48	50	44	48	52	60	33	44	34	72	68	37	57	53	52	44	53
	単身高齢者(%)	64	65	63	54	60	52	43	38	57	46	51	46	66	54	37	38	48	39	40	40
	単身女性高齢者(%)	63	65	64	54	58	52	41	38	54	46	51	46	68	55	37	39	49	40	40	40
	後期高齢者(75歳以上)(%)	48	52	48	47	49	44	49	51	57	33	42	34	68	73	38	56	54	58	44	54
	単身後期高齢者(%)	62	62	61	54	57	51	40	38	57	45	50	45	69	60	36	37	51	40	40	42
	単身女性後期高齢者(%)	61	62	62	54	56	51	39	38	55	45	50	45	70	60	37	39	53	40	40	41
	高校生層(15～18歳)(%)	46	43	58	51	49	60	39	50	45	64	53	61	24	39	59	50	51	47	66	46
面積	可住地面積(k㎡)	38	39	40	41	38	43	44	52	55	64	41	52	44	75	56	50	59	54	54	60
	人口密度(人/k㎡)	68	61	61	59	73	58	42	42	43	51	51	54	43	41	43	42	42	41	44	42

## データを把握し分析する～地域特性分析②

## アンケートやGISデータに基づく市内20行政区ごとの地域特性の分析

	おでかけ利便性 (公共交通カバー率)	買い物利便性 (徒歩での買物率)	事業性 (単身高齢者数)	効率性 (人口密度)	20地区の基本分類
中心部	高い	高い	高い	高い	行仁、鶴城、謹教、城北、 日新、城西、東山、一箕、
	低い	高い	高い	高い	門田
郊外部	高い	低い	低い	低い	神指、大戸、荒井、日橋
	低い	高い	低い	低い	町北
郊外部	低い	低い	低い	低い	高野、湊、北会津(舘の内、 川南)、河東(八田、堂島)

6年間の計画で全ての地区をやることはできない……

優先的に取り組むべき地区や地域が見えてくる

# 地域公共交通網形成計画(28～33年度)を策定

## 「スマートシティ会津若松」

市民一人ひとりが利便性を感じ、安全・安心で豊かに暮らせるまち

- 観光 商工
- 健康 福祉
- 環境 エネルギー
- 都市 計画
- 地方 創生

貢献する公共交通



### <基本方針>

「運動量 = 市内外の交流、公共交通の利用者数」の増大を通じて、健康で安心して暮らせる活力あるまちづくりに貢献する公共交通を目指す

### 3つの重点対象者

- ①元気な高齢者 ②高校生 ③観光客

### 4つの基本目標>

- ①くらしを支える交通手段の確保
- ②楽しんでおでかけできる交通システムの構築
- ③連携・協働による持続可能な公共交通の構築
- ④まちづくりへ寄与する公共交通の構築

### <6つの基本戦略17の具体的プロジェクト>

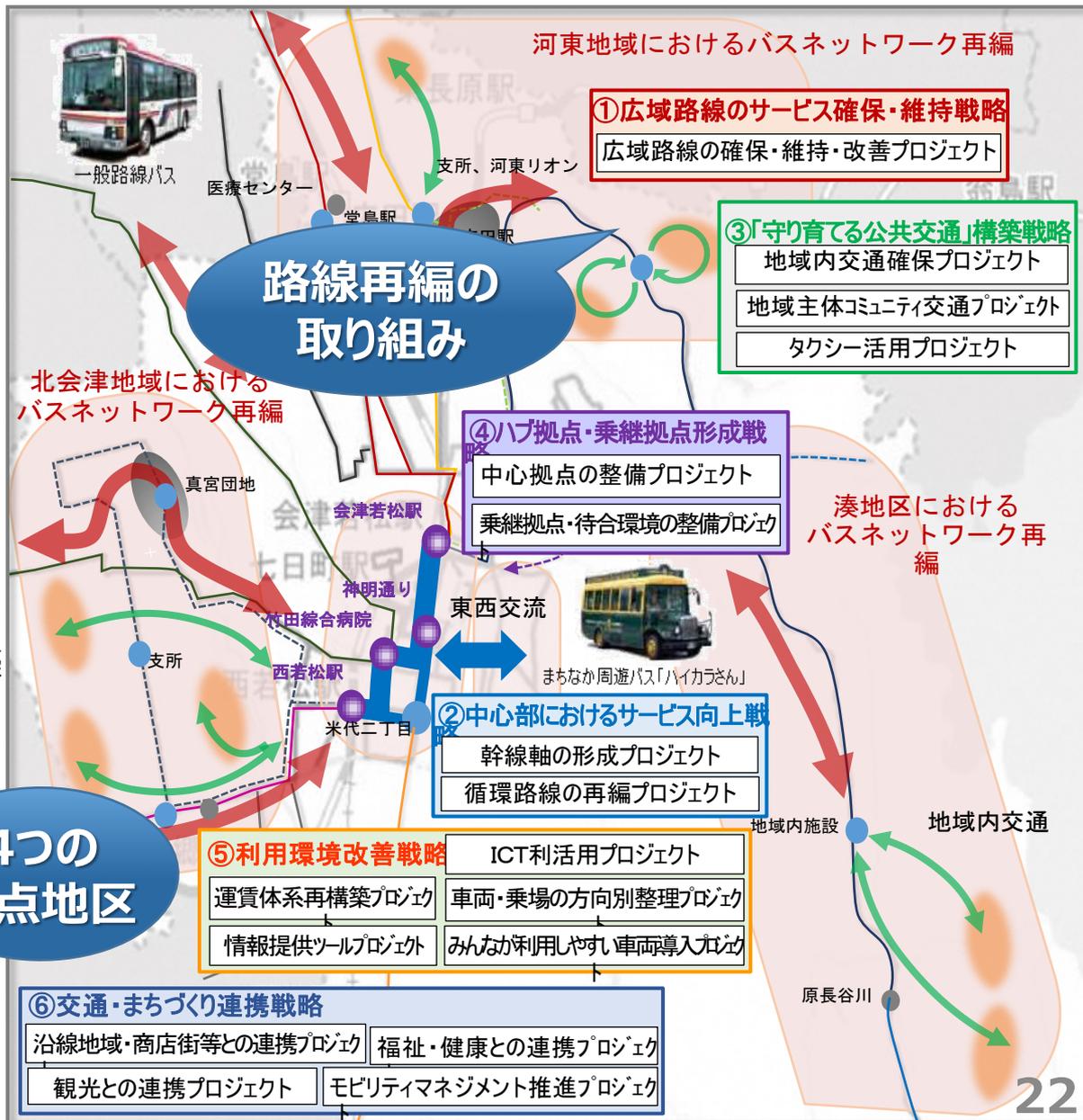
※右図

### <4つの重点地区>

- ①中心部 ②北会津 ③河東 ④湊

28年度には網形成計画を実施していくためのアクションプランとして再編実施計画の策定を予定

## <路線バスを中心とした公共交通のネットワーク再編のイメージ>

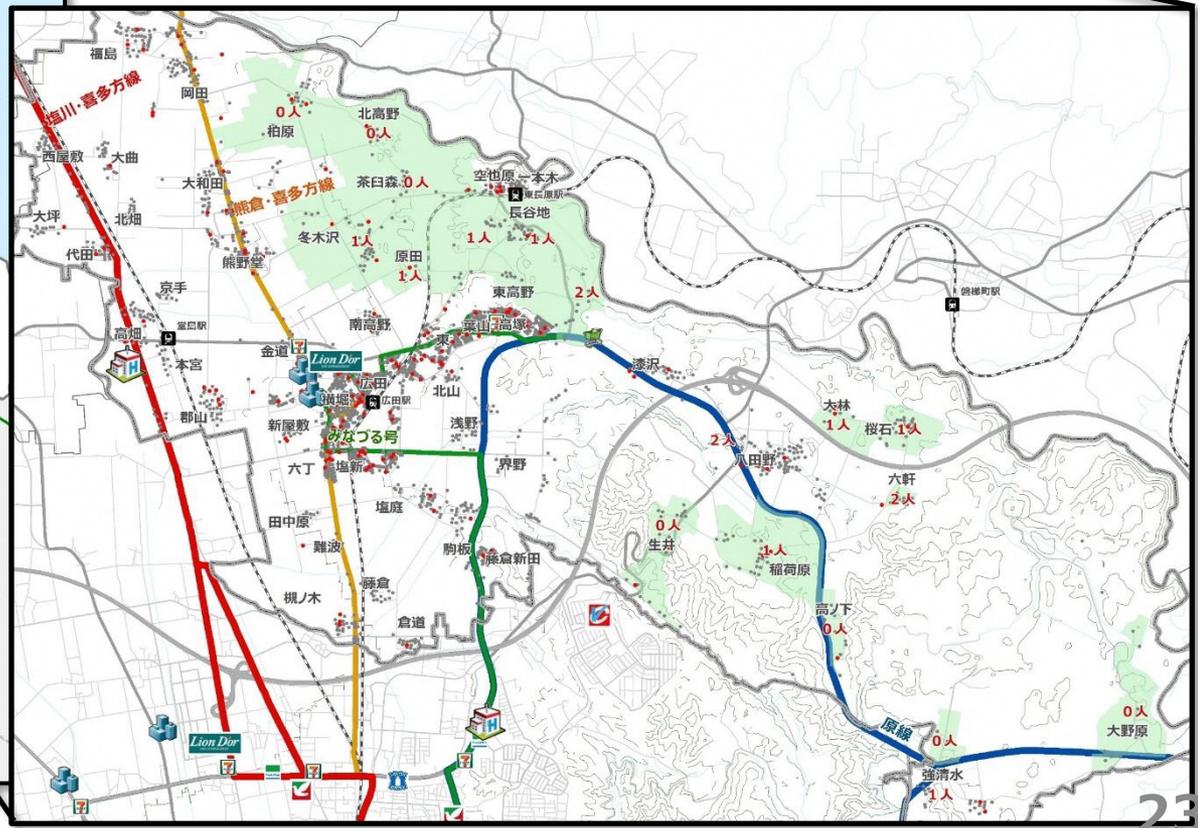
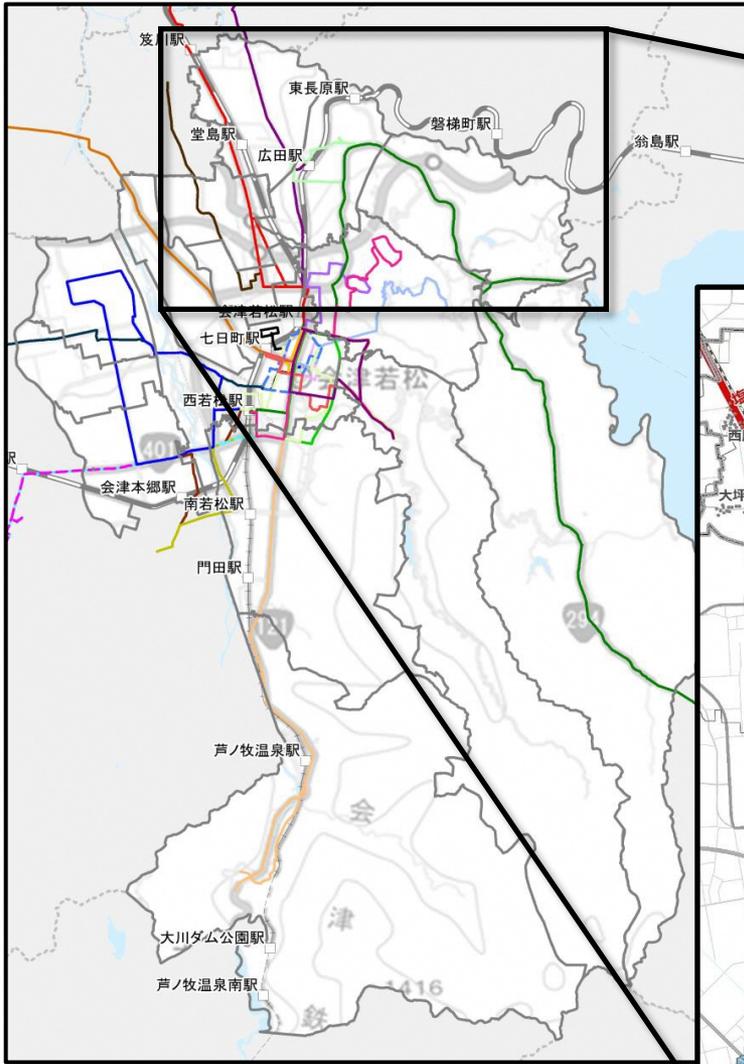


# データを把握し共有する～集落別調査①

バス路線再編の重点地区をさらに集落ごとに分析  
⇒同じ行政区内でも地域の特性・実情は異なることからさらに詳細に分析

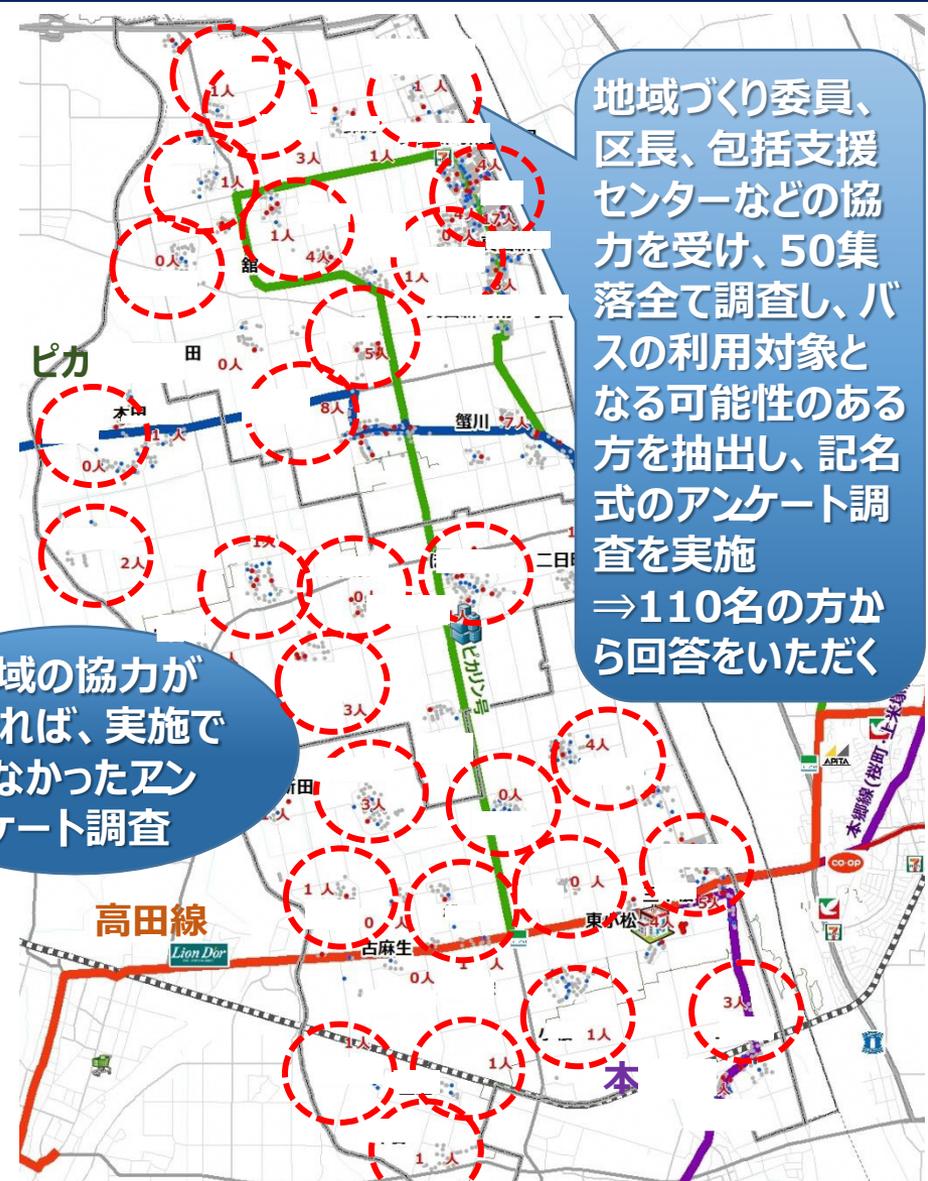
市内20行政区（行仁、鶴城・・・河東）

河東地区→53集落で構成



# データと実態を突き合わせ、実情を把握する

地区	町内会名	世帯数	単身高齢女性の数	利用者見込み		確認状況（単身高齢女性など）
				最小値	最大値	
		103	8	4	8	・単身でも、元気で免許を持っていれば車を運転しておりバスは使わない。 ・高齢者のみ世帯の方が可能性があるかもしれない。 ・学生も何人かは使っていると思う。ただ、部活の子は定期を買ってまで使わないと思う。
		31	5	3	5	・よくバスを使っている人は何人かいる。 ・学生は自転車か送迎。特に、学風は送迎せざるを得ない。 ・3人程度バスを使っている人がいる。単身女性の方は高齢のため、バスは使っていない。 ・学生は基本自転車。冬は送迎。
		66	6	3	7	・単身女性は今同居。可能性があるのは単身男性だが、バスは使っていないと思う。 ・高校生は夏自転車冬は送迎。農家は冬農閑期なので送迎しやすい。バスはお金もかかる。
		6	2	0	0	・住民票上で単身女性になっている人は皆世帯分離で同居。 ・バス利用者は同居だが免許を持っていない高齢女性。 ・高校生は現状は自転車か送迎。ただ、朝夕の時間を厚くすれば学生はもう少し乗ると思う。
		120	6	8	8	・真宮中からバスに乗っている人はそこそこいる。単身高齢者だけではない。 ・学生は晴れの日は自転車。雨の日は冬期間は自転車かも。
		270	22	8	17	・バス利用者は、単身世帯よりも高齢者のみ世帯かも。 ・男性より女性の方が外出するので、バスを使う。 ・学生は基本夏は自転車、冬は送迎。ただ、冬にバスを使っている学生はいるかもしれない。
		99	3	2	4	・単身女性のうち2人ぐらいはバスを使っていると思う。 ・バス停名がまぎらわしいので変えてほしい。 ・高校生は自転車か送迎が多いと思うが、朝バスに乗っているのは見たことがある。
		70	3	2	4	・単身女性も含め、あまりバス利用する人はいないと思う。 ・工業団地への通勤客をターゲットにした方が良いと思う。 ・高校生には家族が送迎している。
		99	4	0	1	・単身女性が多分バス使わない。高齢者のみ世帯も今は少ないと厳しい。 ・高齢者にとってはバス停が遠いので、集落内に入っていない。 ・高校生はバスを利用しているかもしれない。ただ、冬は距離があるので、家族が送迎していると思う。 ・バス停に関する意見を出した人がいたので、バスをも。
		23	2	0	1	・学生は自転車か送迎。 ・バス利用は単身女性ではなく、同居の高齢女性。 ・現在は高校生はいない。
		19	0	0	1	・単身女性バスを使っていないと思う。単身が男になるかも。 ・高校生は自転車か送迎。バスは使っていないと思う。
		15	2	3	4	・単身女性はおらず、可能性があるのは高齢者のみ世帯か。 ・現在高校生はいないと思う。
		19	3	1	3	・現在バスを使う人はいないと思う。バス停が集落から離れており、高齢者は使えない。 ・学生は自転車か送迎だが、学生はバスを使うこともできないはない。
		18	1	0	0	・高齢者はバス使っていない。高齢者以外で1件バスを使っている世帯がある。 ・高校生は基本自転車か送迎だが、雪のことを考えてバスを充実させてほしい。
		25	0	0	0	・基本バスを使っている人はいないが、1件可能性あり。 ・学生は基本自転車か送迎。
		14	1	1	1	・和泉はバス停が遠いため、バスを利用しない前提で生活設計ができている。バスは使わない。 ・高校生は自転車か送迎。バスを使おうとする人はいない。
		17	0	1	1	・単身女性はおらず、2人ぐらいうち高齢可能性がある人はいるが、送迎等で対応しており、バスは使っていない。 ・現在高校生はいない。ただ、昔は自転車か送迎で通学。
		1	1	1	1	
		6	0	0	0	
集計欄		1,101	69	37	66	



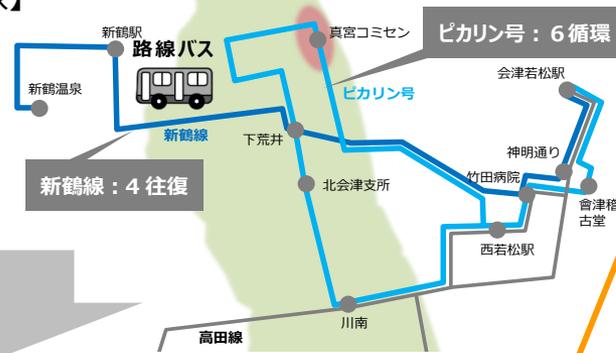
地域づくり委員、区長、包括支援センターなどの協力を受け、50集落全て調査し、バスの利用対象となる可能性のある方を抽出し、記名式のアンケート調査を実施  
⇒110名の方から回答をいただく

地域の協力がなければ、実施できなかったアンケート調査

GISと地域の人のネットワークを活用し、バスを必要とする人の特定が可能に  
⇒実質的に把握した需要に基づいた、持続可能なバスづくりにつなげる

# 【参考】北会津地区における路線再編のイメージ

【現行路線】



## 地域内交通の運行のイメージ

### 「予約型の乗合プチバス(乗合タクシー)」



【再編イメージ】

下荒井～真宮～蟹川は約10分

循環型運行から直行型運行に変更

7往復程度

(仮称) 若松～北会津

(仮称) 北会津～新鶴

4往復程度

地域内交通

地域内交通

神明通り周辺への移動に対応

路線バス「東麻生」「柏原」バス停については地域内交通で代替

アピタ、西若松駅方面については、地域内交通で代替



予約がなくても運行

西病院⇔アピタ⇔ヨーク⇔西駅

# 網形成計画・再編実施計画の策定

## 地域公共交通 再編実施計画 (素案)

地域の方々と検討してきた内容を、再編実施計画として取りまとめていく予定

地域の方々と一緒に取り組み、信頼関係を構築しながら検討を重ねてきたプロセスが最も重要であると感じています。

網形成計画での位置づけ

事業内容

＜エリア及び路線の課題＞

- ・市が運行するコミュニティバスと欠損補助する広域路線が重複し、運行するとともに、人口が多く目的地がある広田地区を運行しない路線が存在。
- ・公共交通空白地域が広いエリアに存在(集落が散在)するとも
- ・課題路線である熊倉・喜多方線については喜多方市まで運行する路線。

＜再編の考え方と期待する効果＞

- ・原長谷川線とピカリン号を統合した広域路線に再編し、人口が多く目的地がある広田地区の運行を厚くすることで、利用者利便性及び路線の持続性を高める。
- ・新たにそれぞれの地域に地域内交通として区域運行を導入することで、最低限の通院と買物の移動手段を確保するとともに、広域路線へ接続することで利便性・持続性を高める。
- ・熊倉・喜多方線については、喜多方市エリアでの路線の検討の状況を活かして、会津若松市エリア(河東地区側)については、地域内交通として予約型乗合交通(区域運行)を拡大し代替することへ接続することで利便性・持続性を確保するとともに、広域路線へ接続することで利便性・持続性を高める。

項目	再編前		再編後		再編スケジュール	
	路線名	運行形態	路線名	運行形態	実施主体	再編スケジュール
河東地域内交通の確保	なし		河東地域内交通	区域運行	事業者又は地域組織	H29 H30 H31 H32 H33
広域路線の確保・維持・改善	原長谷川線 【再掲】	路線定期	若松・河東・湊線 ※路線統合	路線定期	会津若松市 会津乗合自動車株式会社	再編 H31.4~
河東地域内交通の確保	なし		河東地域内交通	区域運行	事業者	再編 H30.4~
実情に応じた運行方法の検討	熊倉・喜多方線 【再掲】	路線定期	※河東地区(会津若松市)エリアについては、喜多方市での検討が完了済み、実施に向けた見直しは地域内交通でのカバーを想定	区域運行	地域組織	再編 (一部エリア) H30.4~
広域路線の確保・維持・改善	塩川・喜多方線 【再掲】	路線定期	※喜多方市エリアについては、喜多方市での検討が完了済み、実施に向けた見直しは地域内交通でのカバーを想定	区域運行	会津若松市 他	再編 (拡大) H32.10
					会津乗合自動車株式会社	一部 見直し H32.10

網形成計画での位置づけ

事業内容

＜エリア及び路線の課題＞

- ・市が運行するコミュニティバスと欠損補助する広域路線が重複し、運行するとともに、人口が多く目的地がある真宮地区を運行しない路線が存在。
- ・公共交通空白地域が広いエリアに存在(集落が散在)するとも
- ・課題路線である熊倉・喜多方線については喜多方市まで運行する路線。

＜再編の考え方と期待する効果＞

- ・原長谷川線とピカリン号を統合した広域路線に再編し、人口が多く目的地がある真宮地区の運行を厚くすることで、利用者利便性及び路線の持続性を高める。
- ・新たに地域内交通として予約型乗合交通(区域運行)を導入することで、最低限の通院と買物の移動手段を確保するとともに、広域路線へ接続することで利便性・持続性を高める。

再編後	再編後		再編スケジュール	
	路線名	運行形態	実施主体	再編スケジュール
北会津・新路線 ※支線としてサービス維持	路線定期	会津乗合自動車株式会社	H29 H30 H31 H32 H33	再編 H30.4~
若松・北会津線 ※路線統合	路線定期	会津若松市		再編 H30.4~
北会津地域内交通	区域運行	事業者		再編 H30.4~
変更なし				
変更なし				
変更なし				

＜エリア及び路線の課題＞

- ・一部路線において、地域の需要や利用実態にそぐわない路線が存在。

＜再編の考え方と期待する効果＞

- ・地域の実情に応じた路線の見直し、ダイヤ調整を行うことで、利用者利便性及び路線の持続性を高める。
- ・地域内フィーダーとして地域間幹線系統に接続し路線の持続性を高める。

再編後	再編後		再編スケジュール	
	路線名	運行形態	実施主体	再編スケジュール
金堀線 ※一部路線変更及びダイヤ調整のうえフィーダー系統へ変更	路線定期	会津乗合自動車株式会社	H29 H30 H31 H32 H33	再編 H30.4~

## 最後に・・・



地域交通に限らず、地域課題を解決していくためには、様々な主体の参画が欠かせません。地図やデータは、様々な人達の思いを一つに紡ぎあげることができる、最強のツールだと感じています！



日本郵便株式会社 様

# キオスク端末設置店舗のご提案

平成29年5月31日

会津若松市役所市民部市民課

←会津侍 若松つつん



# コンビニ店舗+市役所出先機関+郵便局+※300m範囲を追加

## 郵便局支店名追加

センター支所 300m

## 人口分布図追加

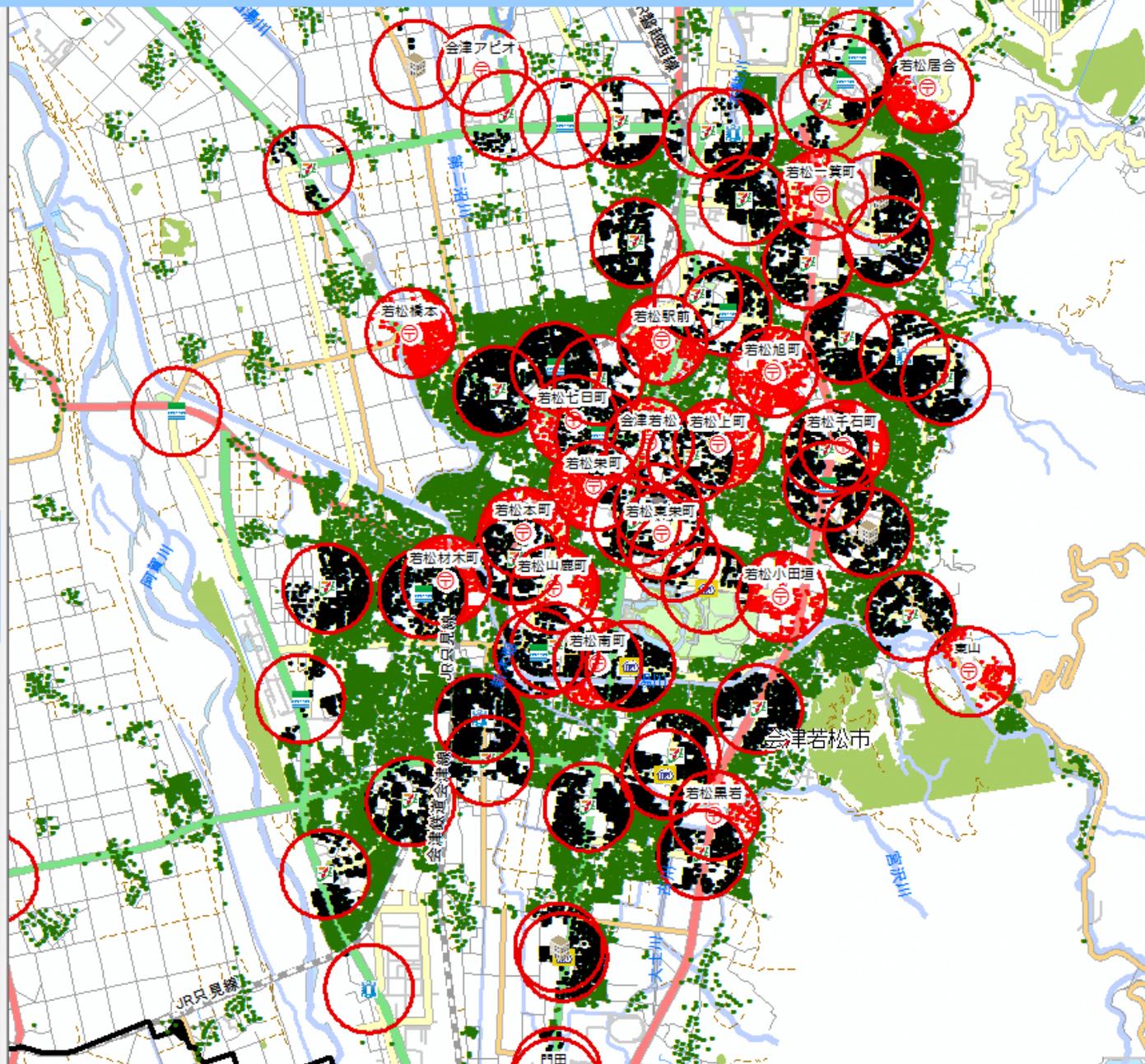
H290528現在コンビニ&出先対象範囲外\_郵便範囲内個人データ

## 市内の拡大図

コンビニ店舗+市役所出先機関  
300m範囲除外 (黒い点)

## 郵便局支店の300m範囲 (赤い点)

- IPC道路地図
- OpenStreetMap
- iPC道路地図
- Topmap
- Middlemap
- Basemap
- Citymap
- Basemap\_BG
- 航空写真 (H25撮影)
- RGB
- Red: Band\_1
- Green: Band\_2
- Blue: Band\_3

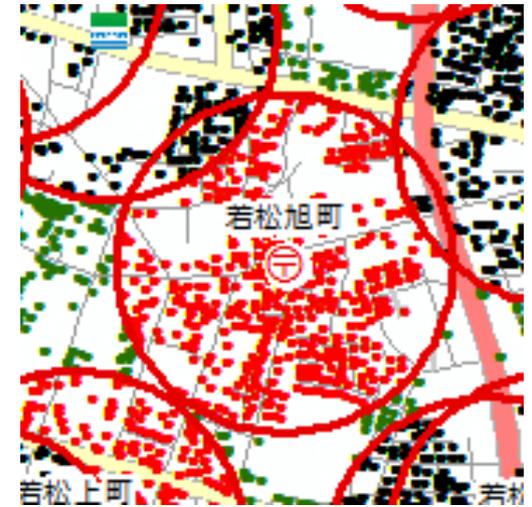


※300m範囲：一般的に高齢者等の徒歩範囲

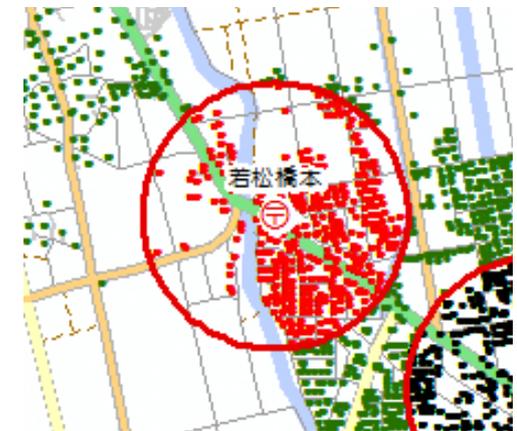
# 会津若松市内郵便局の300m徒歩圏内年齢3区分人口データ (コンビニ&市役所出先機関を除く)

局所名	0-14歳		15-64歳		65歳以上		合計	
若松旭町	179人	1位	795人	1位	364人	2位	1,338人	1位
若松橋本	97人	3位	601人	2位	373人	1位	1,071人	2位
若松駅前	104人	2位	569人	3位	299人	5位	972人	3位
若松居合	84人	5位	442人	5位	333人	3位	859人	4位
若松小田垣	95人	4位	437人	6位	316人	4位	848人	5位
若松栄町	77人	6位	446人	4位	209人	7位	732人	6位
若松上町	72人	7位	411人	7位	228人	6位	711人	7位
若松本町	72人	7位	346人	9位	183人	8位	601人	8位
広田	61人	10位	347人	8位	160人	9位	568人	9位
若松千石町	63人	9位	211人	12位	113人	12位	387人	10位
若松材木町	39人	13位	228人	10位	109人	13位	376人	11位
東山	41人	12位	200人	13位	102人	14位	343人	12位
若松一箕町	47人	11位	223人	11位	64人	20位	334人	13位
若松山鹿町	25人	18位	166人	14位	122人	10位	313人	14位
若松七日町	32人	14位	132人	18位	85人	16位	249人	15位
原	32人	14位	116人	19位	98人	15位	246人	16位
若松南町	32人	14位	162人	15位	44人	23位	238人	17位
会津若松	18人	21位	140人	16位	77人	17位	235人	18位
若松黒岩	20人	20位	137人	17位	64人	20位	221人	19位
芦ノ牧	21人	19位	60人	23位	120人	11位	201人	20位
若松赤井	18人	21位	103人	20位	65人	19位	186人	21位
北会津	27人	17位	75人	21位	74人	18位	176人	22位
上三寄	9人	23位	64人	22位	59人	22位	132人	23位
東長原	9人	23位	58人	24位	33人	24位	100人	24位
堂島	7人	25位	27人	25位	18人	25位	52人	25位
門田	0人	26位	2人	26位	4人	26位	6人	26位

## 若松旭町局



## 若松橋本局



H29.5.29現在データ



WONDA 20th Anniversary

抽選で毎日5名様に10万円!

さらにWチャンス! ワンダ 極 2本セット 総計700名様に!!

応募期間 10月17日(火)10:00

▼ 福島民友ニュース

## 公的証明書の交付開始 若松旭町郵便局でサービス、利便性向上へ

2017年10月03日 09時14分

いいね! 0 シェア ツイート B! 0 G+



担当者から説明を受けて公的証明書を発行する住民(左)

会津若松市の若松旭町郵便局は2日、局内のマルチコピー機で自治体発行の公的証明書を受け取れるサービスを開始した。平日午前9時～午後5時の営業時間内にマイナンバーカードや住民基本台帳カードを持参して機械を操作すれば、住民票の写しや印鑑登録証明書などを取得できる。

利便性の向上やマイナンバーの普及に向けた日本郵便のサービスで、全国14局で始まった。東北では若松旭町郵便局のみ。

日本郵便東北支社によると、個人情報などが記載された重要書類をインターネット上で受け取れる「マイポスト」の運用で、同社と会津若松市が連携していることからサービスの提供が決まった。また、同市にあるコンビニ57カ所のコピー機で公的証明書の交付を受けられるものの、**若松旭町郵便局周辺にコンビニがない**ことも理由の一つになったという。

同局でのセレモニーで東北支社の大住清則経営管理本部長と室井照平市長らがテープカットし、室井市長が証明書を発行した。

広告は Google により終了しました

問題がある広告として報告

福島県会津若松市役所では  
住民基本台帳の位置情報を活用する  
ことで、行政サービスにおける  
課題解決のツールとなっています。

こんな便利データを！！

全国の皆さんと享受したい！！

データがある事で街が活性化！？

データがある事で事業が成功する街

市役所内部で活用している  
パーソナルデータ

住民基本台帳のポイント（点）

をオープンデータに！？

本市GISの最大の特徴 住民異動の際に市民の方から、場所を聞き取りし、住民ポイントデータを毎日更新

ただし、このポイントデータをオープンデータとして公開してしまうと、個人の場所が特定されてしまうおそれがある。(個人情報ではないが、、、)



しかし、全国の自治体でも稀な、詳細な人口分布図などをオープンデータとして公開すれば・・・

例えば、出店計画などに活用できる多様なオープンデータが提供されている街としてモデルになるのでは??

でも個人が特定されるのは、絶対にダメです。

会津若松市では  
オープンデータ推進  
に関する基本方針  
を定めています



# ＜会津若松市オープンデータ推進に関する基本方針＞

平成 28 年 1 月 25 日 決裁

## 1. 策定の背景・趣旨

国内全体で急速な高齢化と人口減少が進むなか、自治体の税収は減少傾向にあるにもかかわらず、公的サービスに対する住民のニーズは拡大・細分化し続けている。しかしながら、自治体の財源や人員には限りがあるため、現実的には全てのニーズについて自治体側だけで対応することは難しい。

そのような中で世界に目を向けると、「オープンガバメント」「オープンデータ」の普及とともに「シビックテック」の概念が台頭し、政府や自治体に頼らず住民自らの手によって必要なものを作り出すという気運が高まっている。

本市ではこのような状況を踏まえ、オープンデータの推進による市政の透明性の向上や経済活性化、また市民や地域コミュニティと一体となって地域課題の解決に取り組む「新しい公共」を推進し、「スマートシティ会津若松」の実現に寄与することを目的として、オープンデータの推進に関する基本的な方針を定めるものとする。

オープンに迷った職員のために

会津若松市役所では

「オープンデータQ & A」

があります



# オープンデータ Q&A

本資料は、次の作品を二次利用して作成しております。

タイトル：ブラックジャックによろしく

著作者名：佐藤秀峰

サイト名：漫画 on web

(会津若松市職員向け)

会津若松市オープンデータ推進検討チーム

## [基本]Q-1 オープンデータってなに？



**A-1** オープンデータとは「機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータ」であり「人手を多くかけずにデータの二次利用を可能とするもの」と定義されています。

つまり紙の帳票や台帳ではなく、テキストやCSVといったコンピュータで扱いやすいデータであって、複製や改変、再配布などの二次利用（商用利用を含む）の許可を明示したものが「オープンデータ」にあたります。

## Q-6 オープンデータにすべきでない情報の例はどんなものがある？



**A-6** 行政機関が扱う情報のなかには、広く公開すべきでない情報も当然含まれています。例えば「個人情報」はオープンデータにすべきではなく、「データを公開することで明らかに第三者が不利益を被る情報」も同様です。

※1

文章上の表現で「公開できるものだけ」と記述してありますが、本来は『公開できないもの』以外は基本的に全て公開するほうが考え方としてより正確と言えます。

「オープンデータQ & A」

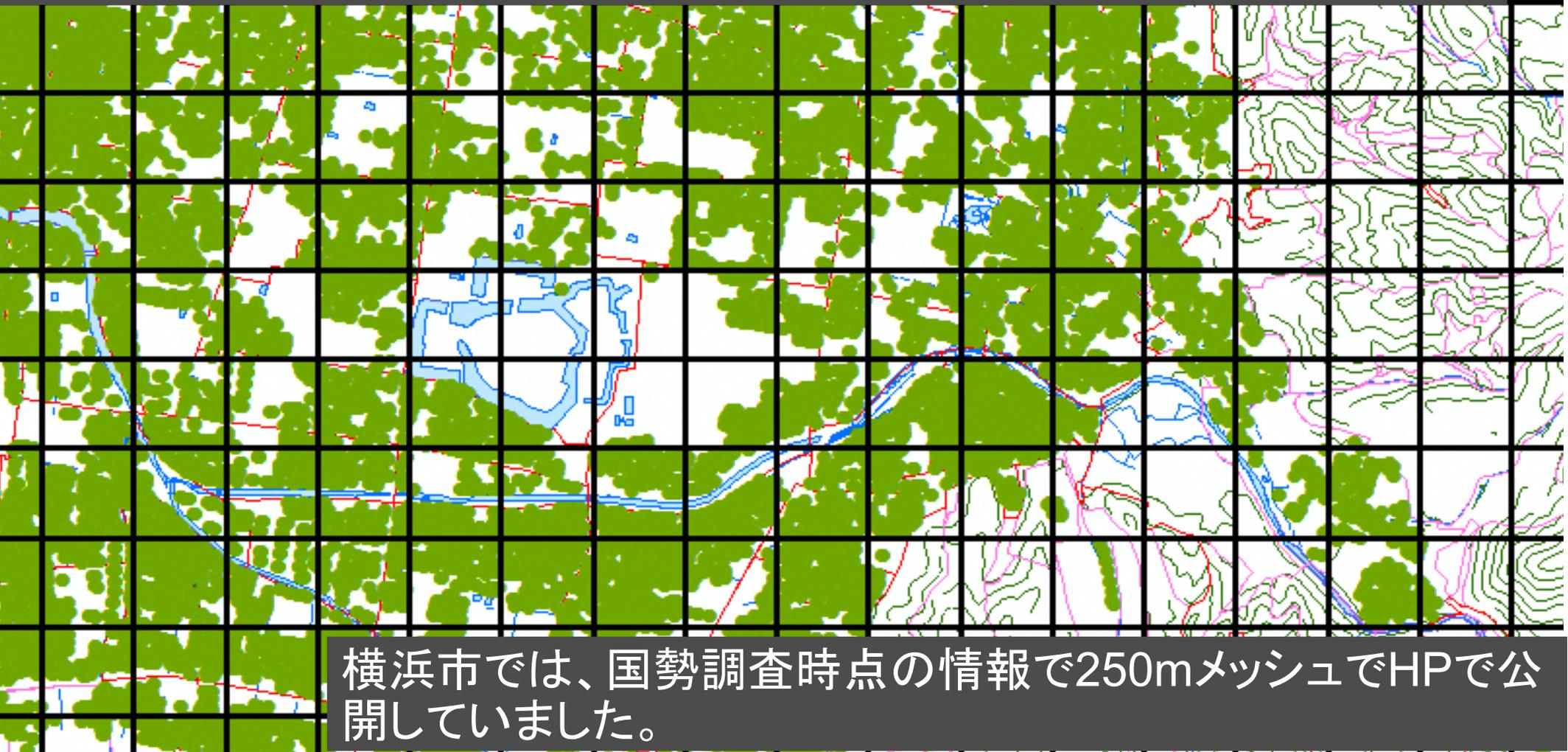
を参考に、

パーソルデータを

匿名加工を行い

オープンデータへ！？

- ①公開する方法として、総務省統計局e-statより、一辺250mの正方形の網(全国共通メッシュ番号)をダウンロードする。
- ②この一辺250mの正方形の網(メッシュ)の中に、人口が何人いるという表現の手法でやってみたらどうか。



横浜市では、国勢調査時点の情報で250mメッシュでHPで公開していました。

メッシュを細かくしすぎると、ポイントと同様に個人の特定につながってしまう。



政府統計の総合窓口

## 数字で見る日本

e-statは、日本の統計が閲覧できる政府統計ポータルサイトです。

- 統計データを探す
- 地図や図表で見る
- 調査項目を調べる
- 統計サイト検索・リンク集
- ログイン

### 統計データを探す

様々な府省が管理している統計データを検索できます。

- ▶ [主要な統計から探す](#)
- ▶ [政府統計全体から探す](#)

キーワード検索(条件指定)



### 地図や図表で見る

地図や図表により統計データを“見える化”できます。

- ▶ [図表で見る日本の主要指標](#)
- ▶ [都道府県・市区町村のすがた](#)
- ▶ [地図で見る統計\(統計GIS\)](#)
- ▶ [地図による小地域分析\(jSTAT MAP\)](#)
- ▶ [統計年鑑等の統計書\(総務省統計局\)](#)

### 調査項目を調べる

統計データの基本となる用語やコードを説明しています。

- ▶ [統計に用いる分類\(産業、職業等\)・用語](#)
- ▶ [市区町村名・コード](#)
- ▶ [調査項目を探す](#)

**API機能**

**GIS機能**  
地図による小地域分析(jSTAT MAP)

**統計LOD**  
Statistical Linked Open Data

政府統計の総合窓口(e-Stat)の**活用術**

地域の産業・雇用創造チャート  
統計で見る**稼ぐ力と雇用力**

**アンケート** 実施中  
ご協力をお願いします

統計について勉強しよう ▶▶  
**統計を知る・学ぶ**

- **新着情報**
- **公表予定**
- **お知らせ**

[RSSによる配信はこちら](#)

- UP 2017年1月6日 厚生労働省 ▶ [毎月勤労統計調査 全国調査 年次-2015年](#)
- NEW! 2017年1月6日 厚生労働省 ▶ [厚生年金保険・国民年金事業月報\(速報\)\(平成28年\) 月次-2016年4月](#)
- NEW! 2017年1月6日 農林水産省 ▶ [木材流通統計調査\(速報 木材価格\) 月次-2016年12月](#)
- UP 2017年1月6日 厚生労働省 ▶ [保健師活動領域調査\(平成28年度 領域調査\) 年次-2016年](#)
- NEW! 2017年1月6日 厚生労働省 ▶ [保健師活動領域調査\(平成28年度 正誤対応表\) 年次-2016年](#)
- UP 2017年1月6日 国土交通省 ▶ [建築業工統計調査\(時系列表\) 年次-2015年度](#)

①公開する方法として、総務省統計局e-statより、一辺250mの正方形の網  
(全国共通メッシュ番号)をダウンロード。



※会津若松市のみ抽出加工済み 全国共通メッシュ↓

<https://drive.google.com/drive/folders/0B8jzGRTXuDp6aHZsQjM2T2YxMWs>

②この一辺250mの正方形の網(メッシュ)の中に、年齢3区分それぞれに人口集計を行い、匿名加工(統計処理)をしております。

year,month,mesh\_code,youth,working\_age,aged  
年, 月, メッシュコード, 15歳未満, 15~64歳, 65歳以上

2016,8,5639070321,3,21,20

2016,8,5639070314,0,0,3

2016,8,5639070323,0,3,3

2016,8,5639071342,0,3,3

2016,8,5639071344,0,6,12

2016,8,5639073222,0,3,3

2016,9,5639070321,3,21,20

2016,9,5639070314,0,0,3

2016,9,5639070323,0,3,3

2016,9,5639071342,0,3,3

※また個人が特定されることを防ぐため、メッシュ中の人口が「1」または「2」の場合、強制的に数値を「3」に変更しております。

このデータを会津若松市の  
オープンデータカタログサイト

「DATA for CITIZEN」の



**「年齢3区分人口メッシュ」**

という名称にて公開※しております。

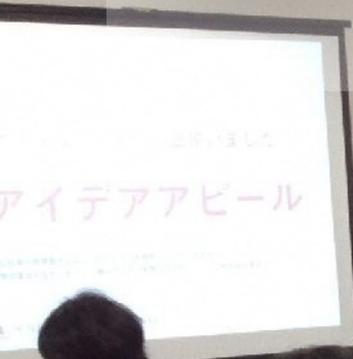
※2013年7月から直近のデータまであります。更新頻度、毎月。



[http://www.data4citizen.jp/app/users/openDataTop/show/O\\_MESH\\_POPULATION](http://www.data4citizen.jp/app/users/openDataTop/show/O_MESH_POPULATION)

この最新のデータの存在を  
全国の地図オタクに伝えたい  
使ってもらわないと意味がない

# ハッカソン・アイデアソン

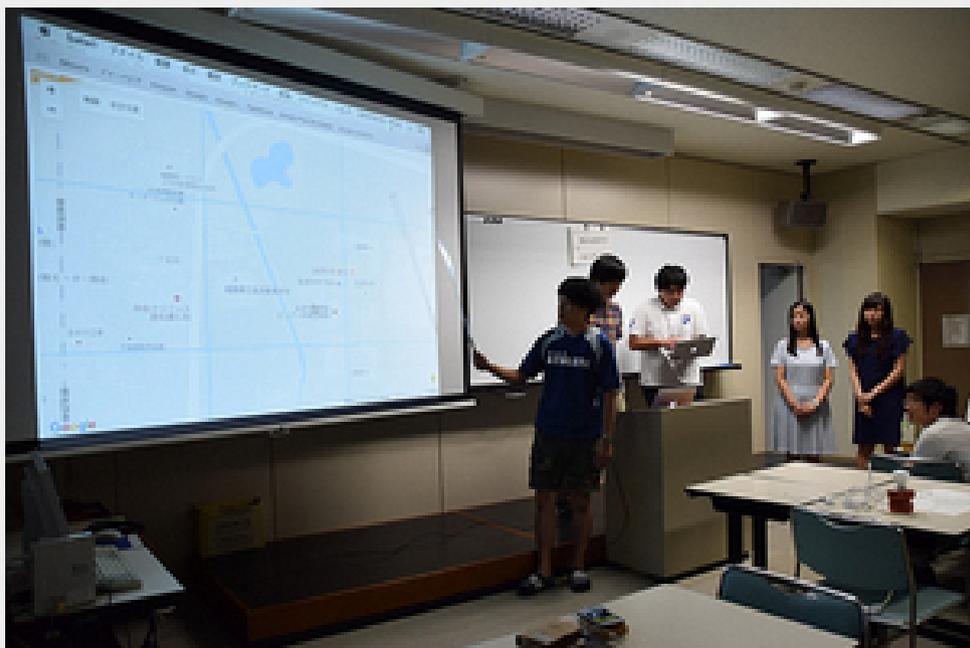


⑤作品名：AIZU - GRID(アイグリ)

陣取りゲーム要素のはいった地域独立位置ゲー！

[hacklog.jp/works/48103](https://hacklog.jp/works/48103)

会津若松市のグリッドに区分されたオープンデータを利用した位置情報ゲーム。グリッド単位で制圧していきます。「都会のプレイヤーのほうが有利」という点を払拭し、どのプレイヤーも平等にゲームを楽しむことができることを意識。



地図上にグリッドを表示するところまでで、デモは作れなかったとのこと。・・・残念。  
参加者から、オセロ要素もいれると面白いかも？なんて意見もでていました。

⑥作品名：92(18から始める国民取りゲーム)

会津若松を練り歩き国民を奪い合うゲーム

[hacklog.jp/works/48107](http://hacklog.jp/works/48107)

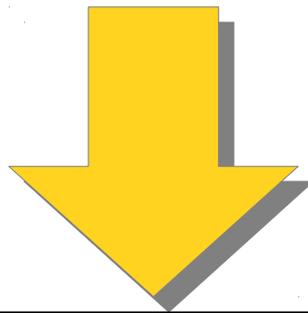
プレイヤーは“官僚”としてどこかの国の国民となり、自分が所属している国で一番国民を仲間にする  
と“領主”になれます。自分で国民を集めて独立し“自分の国”を作り、領主となることも可能です。  
こちらの会津若松の人口メッシュオープンデータを利用した作品です。



次に、全国規模のコンテスト  
アーバンデータチャレンジ2016  
データ部門へ応募！！

# 地域の課題解決に、共通に必要なもの

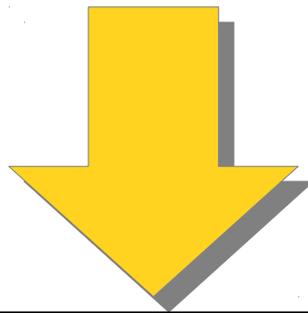
- 年齢3区分人口データ
  - 地域における課題解決に必要
  - 人口データは他のデータとの相性良
  - 最新データ(前月)を参照することが可能
  - データを蓄積することで将来を予想



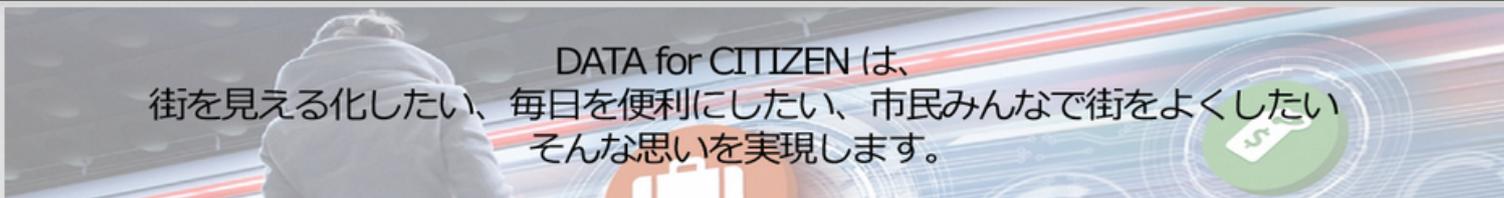
会津若松市の  
人口データをご利用ください

# 事業に成功する街 会津若松市！！

- 年齢3区分人口データ
  - 毎月最新のデータを継続し追加していきます。
  - 実運用開始から1年経過しました。
- 他のオープンデータも各種揃ってます。



会津若松市の  
オープンデータをご利用ください



**データセット**

**127**

公共データを公開中

Libraries collaboration  
OpenData better  
create vehicle people  
Aizu participation

**アプリ**

**42**

市民のためのアプリを公開

**要望**

皆さんの声を聞かせてください

- こんなデータが欲しい
- あんなアプリを作って

あなたの声で、街をよくしていこう

**スマートシティ**

会津若松市では、市民が安心して快適に生活できるまちづくり“スマートシティ”を目指しています。

トピックス

- 2017/02/10: サービスの一時停止のお知らせ (2017年2月14日) >>more
- 2017/02/07: 平成28年度会津若松市オープンデータコンテスト表彰式を行います! >>more
- 2016/11/28: コンテスト応募データ及び各種市勢統計データを公開しています >>more

>>さらに見る

オープンデータ 会津若松市から統計情報等の公共データを提供しております。

- データセット: 会津若松市のイベント情報  
公開日: 2016/02/29  
詳細: 会津若松市のイベント情報です。会津若松市のイベント情報を記録したデータです。参照: 行 >>more
- データセット: 会津若松市内小中学校の学年・クラスデータ  
公開日: 2017/02/14  
詳細: 会津若松市内小中学校の学年・クラスのデータ >>more
- データセット: 会津市内小中学校のクラブ活動データ  
公開日: 2017/02/14  
詳細: 会津市内小中学校のクラブ活動データ >>more

オープンデータ更新情報

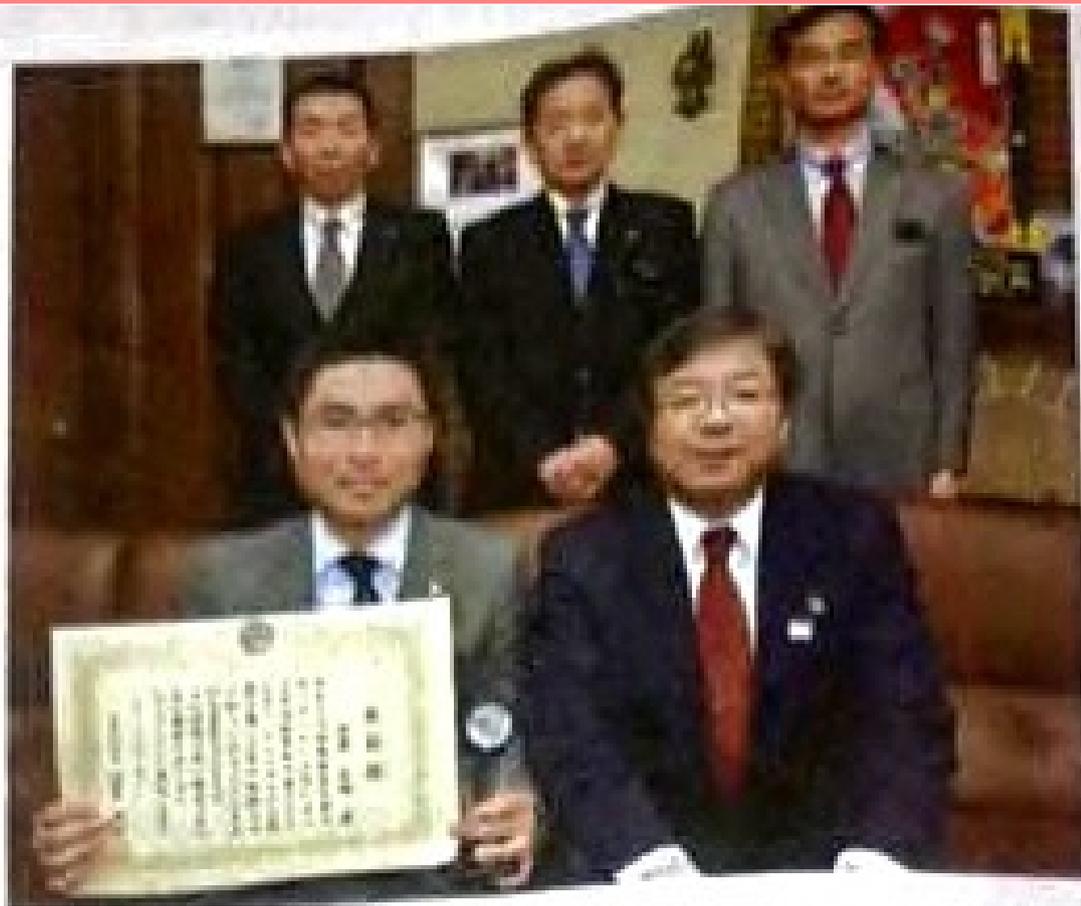
- 2017/02/20 会津若松市のイベント情報が更新されました。
- 2017/02/14 IoTセンサー情報(修正版)が更新されました。
- 2017/02/14 会津市内小中学校のクラブ活動データが更新されました。
- 2017/02/14 会津若松市内小中学校の学年・クラスデータが更新されました。
- 2017/02/10 年齢3区分人口メッシュが更新されました。
- 2017/02/02 毎月大字別人口が更新され、月別1歳毎年齢別人口が更新され



http://www.data4citizen.jp

アプリケーション 市民にとって役立つアプリケーションを提供しております

# 10年ぶり職員臨時表彰



室井市長から表彰を受けた伊藤さん（前列左）と市民課の職員

住民基本台帳情報オープンデータ化

伊藤さんたたたえる

## 若松市が臨時表彰

会津若松市は3月29日、住民基本台帳情報のオープンデータ化を実現し、市が推進するオープンデータの活用推進に貢献したとして、市民課主査伊藤文徳さん(41)を表彰した。市民サービス向上や事務事業の改善・効率化、経費節減に向けた職員提案制度の表彰を行っているが、臨時的な表彰は10年ぶりという。

市民課では、住民異動届を提出した市民から対面で住宅の位置情報を聞き取り、住民基本台帳の更新時に位置座標として加えている。年齢別居住バランスなどのデータはバス路線再編などに活用してきたが、さらにデータを匿名加工しオープンデータとして広く公開し、毎月末時点の最新データを活用できる状態にしている。

データは店舗の出店や要援護者支援など地域が抱える課題を解決するのにも役立っており、伊藤さんが発表を務めた全国規模のコンテストでの受賞を通じ市の取り組みを全国にPRしたことも表彰対象となった。

表彰式は市民部職員らが見守る中で行われ、室井照平市長が伊藤さんに表彰状を手渡した。室井市長は、市民課の取り組みは名譽で、今後も会津若松を背負っている気持ちで頑張ってもらいたい」と激励した。

# 住基空間情報を活用してきたこと

- 庁内

- パーソナルデータ

- GIS検討チーム全員でアイデアを出し

- その場で解決！！ → **楽しみながら**

- GISだと見た目でわかる！！

- **業務改革 → 職員の「意識改革」**

- 庁外

- パーソナルデータ → オープンデータ

- 新しい付加価値が生まれ、経済活動も活発に？

- まちを知ってもらおう。新しい発見もある！！

- **仲間ができる！！**

# ご清聴ありがとうございました！！



Future  
From  
Fukushima.

ふくしまから  
はじめよう。

ご不明な点、ございましたら、連絡頂ければと思います。

会津若松市役所 市民課 伊藤 文徳

TEL0242-39-1216 Fax 0242-28-4579

E-mail:[bun@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp](mailto:bun@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp)

